



つながる・つなげる富良野の想い



HARVEST REPORT
-APPENDIX-

つながる・つなげる 富良野の想い

"富良野×今・これから"を
市民が真剣に探求した2日間

Appendix

ハーベストレポート用付録

令和1年度

まちづくり協働

セミナー&ワークショップ

ハーベストレポート



まちづくり協働セミナー&ワークショップ
令和1年度ハーベストレポート
このセミナーは公益財団法人北海道市町村振興協会の助成を受けて実施しています。

Appendix

Appendix

ワークショップ&セミナーで集まった素材を
生データのまま整理しました。

別冊のハーベストレポートとセットでご活用ください。

※音声データ等については当日参加者に活用の許可を得ていますが、できる限り個人が特定されにくいように個人名等は加工しております。

1.表紙

2.みんなが感じている富良野

 芽1:富良野の特徴◎△(第1回ワークショップ)	
1.カード全面(特徴の選択肢)	P01-P02
2.富良野の特徴◎(魅力)	P03-P08
3.富良野の特徴△(満足していないもの)	P09-P12
 芽2:エリア別の魅力と不安(第1回ワークショップ)	
1.ポストイット写真・テキストデータ	P13-P30

3.富良野の未来へ向けて

 芽3:テーマ別ダイアログ(第1回/第2回ワークショップ)	
1.「富良野市のユニークポイントを見つけろ/磨く/新たに創り出す」 (模造紙写真・テキストデータ)	
・第1回ワークショップ	P31-P42
・第2回ワークショップ	P43-P46
2.「富良野市のこれまでの粋を外した魅力的な未来ビジョンを創り出す」	
・第1回ワークショップ	P47-P60
・第2回ワークショップ	P61-P64
3.「富良野市のこれまでの施策に不足している、今後はこうあってほしい、を考える」	
・第1回ワークショップ	P65-P68
・第2回ワークショップ	P69-P76
4.「富良野市の自分の周りの人たち/ここにいない人の声を拾い上げる」	
・第1回ワークショップ	P77-P88
5.「人口減少でも、豊かな富良野(未来)のために必要なことを考える」	
・第1回ワークショップ	P89-P106
・第2回ワークショップ	P107-P113
 芽4:未来のふらのへ向けての提案(第2回ワークショップ)	
1.動画データへのリンク	P114

4.参加者の声

 芽5:参加者の声(第1回ワークショップ) ※ALLデータ・集計データ	P115-P120
 参加者インタビュー動画へのリンク	P121

5.その他

・現行施策の対象ライフステージ別一覧	P123-P124
・動画へのリンク(再掲含む)	P124
・当日の写真	P125-P128

まちづくり100人協働セミナー&ワークショップ

- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 行財政
市政の住民説明がある。
1 | 行財政
地域コミュニティ活動と行政が連携している
2 | 行財政
公民館施設が充実している
3 | 行財政
富良野市として、強みを理解して税金をかけている
4 |
| 教育
家庭内の教育に対してフォローする仕組みがある
8 | 教育
保育施設が充実している
9 | 教育
子供の遊び場が多い
10 | 教育
子育て支援制度が幅広い
11 |
| 教育
グローバルを見据えた教育環境がある
15 | 教育
公園が充実している
16 | 暮らし
自然が豊かである
17 | 暮らし
環境問題に対応している
18 |
| 暮らし
除雪体制が充実している
22 | 暮らし
乳幼児支援が手厚い
23 | 保健・医療・福祉
高齢者福祉施設が多い
24 | 保健・医療・福祉
医療が充実している
25 |
| 産業
海外の観光客が増加している
29 | 産業
飲食店が充実している
30 | 産業
6次産業が盛んである
31 | 産業
イベントが充実している
32 |

このセミナーは公益財団法人北海道市町村振興協会の助成を受けて実施しています。



- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 教育
文化に対する教育・設備が充実している
5 | 教育
スポーツに対する教育・設備が充実している
6 | 教育
IT分野の教育が充実している
7 |
| 教育
自然を活かした教育プログラムがある
12 | 教育
ボランティア活動が盛んである
13 | 教育
東大演習林がある
14 |
| 暮らし
ペットに優しい
19 | 暮らし
買い物に困らない
20 | 暮らし
消防設備が整っている
21 |
| 保健・医療・福祉
地域包括支援の仕組みがある
26 | 産業
観光が盛んである
27 | 産業
農業支援が手厚い
28 |
| 産業
移住者を受け入れる体制が整っている
34 | 産業
雇用が多くある
35 | 産業

36 |

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴◎ (第1回ワークショップ) |

番号	◎魅力だと思う内容	性別	年齢	エリア	出身	住居期間
2	地域コミュニティ活動と行政が連携している_行財政	男性	30代	市街地東	富良野市	10-19年
2	地域コミュニティ活動と行政が連携している_行財政	男性	80代以上	北の峰・御料	富良野市	20年-
3	公民館施設が充実している_行財政	男性	80代以上	北の峰・御料	富良野市	20年-
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	男性	40代	布礼別	道外	10-19年
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	女性	50代	鳥沼・大沼・扇山	道外	20年-
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	男性	40代	市街地東	道内	5-9年
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	女性	40代	市街地東	道内	10-19年
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	男性	70代	市街地東	富良野市	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
7	IT分野の教育が充実している_教育	男性	60代	北の峰・御料	道内	20年-
8	家庭内の教育に対してフォローする仕組みがある_教育	女性	40代	市街地東	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
10	子供の遊び場が多い_教育		30代	市街地東	道内	10-19年
11	子育て支援制度が幅広い_教育	男性	50代	市街地東	道内	5年未満
11	子育て支援制度が幅広い_教育	女性	40代	市街地東	富良野市	20年-
12	自然を生かした教育プログラムがある_教育	女性	40代	市街地東	道外	10-19年
12	自然を生かした教育プログラムがある_教育	女性	50代	鳥沼・大沼・扇山	道外	20年-
12	自然を生かした教育プログラムがある_教育	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
12	自然を生かした教育プログラムがある_教育	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
12	自然を生かした教育プログラムがある_教育	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
12	自然を生かした教育プログラムがある_教育	女性	30代	山部	富良野市	20年-
12	自然を生かした教育プログラムがある_教育		60代	山部	富良野市	20年-
14	東大演習林がある_教育	女性	40代	東山	道外	5年未満
14	東大演習林がある_教育		40代	北の峰・御料	道外	20年-
14	東大演習林がある_教育	女性	50代	山部	道外	20年-
14	東大演習林がある_教育		60代	山部	道外	5-9年
14	東大演習林がある_教育		40代	北の峰・御料	道内	10-19年
14	東大演習林がある_教育	男性	60代	北の峰・御料	道内	20年-
14	東大演習林がある_教育	女性	30代	山部	富良野市	20年-
14	東大演習林がある_教育	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
14	東大演習林がある_教育	男性	50代	北の峰・御料	富良野市	20年-
14	東大演習林がある_教育	男性	50代	市街地西	富良野市	20年-
14	東大演習林がある_教育	男性	60代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	20年-
14	東大演習林がある_教育		60代	山部	富良野市	20年-
16	公園が充実している_教育	男性	70代	山部	道外	5-9年
16	公園が充実している_教育	男性	10代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代	市街地東	道外	5-9年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	10代	市街地東	道外	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	布部・五区	道外	10-19年

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴◎ (第1回ワークショップ) |

17	自然が豊かである_暮らし	女性	40代	市街地東	道外	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし		40代	北の峰・御料	道外	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	女性	40代	東山	道外	5年未満
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	布礼別	道外	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	50代	山部	道外	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	女性	50代	鳥沼・大沼・扇山	道外	20年-
17	自然が豊かである_暮らし		60代	山部	道外	5-9年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代		道内	
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
17	自然が豊かである_暮らし		30代	市街地東	道内	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
17	自然が豊かである_暮らし		40代	北の峰・御料	道内	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地東	道内	5-9年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地西	道内	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	女性	40代	市街地東	道内	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地東	道内	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	50代	市街地東	道内	5年未満
17	自然が豊かである_暮らし	男性	50代	市街地西	道内	5年未満
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	10代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代		富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代	市街地東	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	10代	布部・五区	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	20代	山部	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	女性	20代	北の峰・御料	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	20代	山部	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地西	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地東	富良野市	10-19年
17	自然が豊かである_暮らし	女性	30代	山部	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	女性	30代	北の峰・御料	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴◎ (第1回ワークショップ) |

17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	女性	40代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	50代	北の峰・御料	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	50代	市街地西	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	女性	60代	市街地東	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし	男性	80代以上	北の峰・御料	富良野市	20年-
17	自然が豊かである_暮らし					
18	環境問題に対応している_暮らし	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
18	環境問題に対応している_暮らし	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
18	環境問題に対応している_暮らし	男性	40代	市街地東	道内	20年-
18	環境問題に対応している_暮らし	女性	10代		富良野市	10-19年
18	環境問題に対応している_暮らし	男性	20代	山部	富良野市	20年-
18	環境問題に対応している_暮らし	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
18	環境問題に対応している_暮らし	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
20	買い物に困らない_暮らし	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
22	除雪体制が充実している_暮らし	男性	70代	山部	道外	5-9年
22	除雪体制が充実している_暮らし	男性	50代	市街地西	富良野市	20年-
22	除雪体制が充実している_暮らし					
22	除雪体制が充実している_暮らし					
22	除雪体制が充実している_暮らし					
23	乳幼児支援が手厚い_暮らし	女性	40代	市街地東	道外	10-19年
24	高齢者福祉施設が多い_保健・医療・福祉	女性	50代	山部	道外	20年-
25	医療が充実している_保健・医療・福祉					
26	地域包括支援の仕組みがある_保健・医療・福祉		40代	北の峰・御料	道内	10-19年
26	地域包括支援の仕組みがある_保健・医療・福祉	男性	60代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	女性	10代	市街地東	道外	5-9年
27	観光が盛んである_産業	男性	10代	市街地東	道外	10-19年
27	観光が盛んである_産業	男性	30代	布部・五区	道外	10-19年
27	観光が盛んである_産業	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
27	観光が盛んである_産業	男性	40代	布礼別	道外	10-19年
27	観光が盛んである_産業	男性	40代	市街地西	道外	5年未満
27	観光が盛んである_産業	男性	70代	山部	道外	5-9年
27	観光が盛んである_産業	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
27	観光が盛んである_産業	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
27	観光が盛んである_産業	女性	10代		道内	
27	観光が盛んである_産業	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
27	観光が盛んである_産業	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
27	観光が盛んである_産業		30代	市街地東	道内	10-19年
27	観光が盛んである_産業	男性	40代	市街地西	道内	20年-
27	観光が盛んである_産業	男性	40代	市街地東	道内	20年-

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴◎ (第1回ワークショップ) |

27	観光が盛んである_産業	男性	40代	市街地東	道内	5-9年
27	観光が盛んである_産業	男性	10代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	10-19年
27	観光が盛んである_産業	女性	10代	市街地東	富良野市	10-19年
27	観光が盛んである_産業	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
27	観光が盛んである_産業	男性	20代	山部	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	女性	20代	北の峰・御料	富良野市	10-19年
27	観光が盛んである_産業	男性	20代	山部	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	男性	30代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	女性	60代	市街地東	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業	男性	70代	市街地東	富良野市	20年-
27	観光が盛んである_産業					
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	10代	市街地東	道外	10-19年
29	海外の観光客が増加している_産業	女性	10代	市街地東	道外	5-9年
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	30代	布部・五区	道外	10-19年
29	海外の観光客が増加している_産業	女性	40代	鳥沼・大沼・扇山	道外	10-19年
29	海外の観光客が増加している_産業		40代	北の峰・御料	道外	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業		60代	山部	道外	5-9年
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
29	海外の観光客が増加している_産業	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	50代	市街地東	道内	5年未満
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	60代	北の峰・御料	道内	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	女性	10代	市街地東	富良野市	10-19年
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	10代	布部・五区	富良野市	10-19年
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	20代	山部	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	30代	市街地西	富良野市	10-19年
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	30代	山部	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業	男性	50代	北の峰・御料	富良野市	20年-
29	海外の観光客が増加している_産業		60代	山部	富良野市	20年-
30	飲食店が充実している_産業	男性	30代	市街地西	道外	5年未満

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴◎ (第1回ワークショップ) |

30	飲食店が充実している_産業	男性	40代	市街地西	道外	5年未満
30	飲食店が充実している_産業	女性	10代		道内	
30	飲食店が充実している_産業	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
30	飲食店が充実している_産業	男性	50代	市街地西	道内	5年未満
30	飲食店が充実している_産業	男性	10代	布部・五区	富良野市	10-19年
30	飲食店が充実している_産業	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
30	飲食店が充実している_産業	女性	60代	市街地東	富良野市	20年-
30	飲食店が充実している_産業					
31	6次産業が盛んである_産業	女性	40代	東山	道外	5年未満
31	6次産業が盛んである_産業	男性	70代	市街地東	富良野市	20年-
32	イベントが充実している_産業	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
32	イベントが充実している_産業	男性	40代	市街地西	道外	5年未満
32	イベントが充実している_産業	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
32	イベントが充実している_産業	男性	40代	市街地西	道内	20年-
32	イベントが充実している_産業	女性	40代	市街地東	道内	10-19年
32	イベントが充実している_産業	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
32	イベントが充実している_産業	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
32	イベントが充実している_産業	女性	20代	北の峰・御料	富良野市	10-19年
32	イベントが充実している_産業	男性	30代	市街地東	富良野市	10-19年
32	イベントが充実している_産業	男性	30代	市街地西	富良野市	10-19年
32	イベントが充実している_産業	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
32	イベントが充実している_産業					
32	イベントが充実している_産業					
33	移住者を受け入れる体制が整っている_産業	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
35	スキー場が近い	女性	30代	市街地西	外国	5年未満
35	農産物が美味しい	女性	30代	市街地西	外国	5年未満
35	アウトドア盛ん	女性	30代	市街地西	外国	5年未満
35	スキー場が有名	女性	40代	鳥沼・大沼・扇山	道外	10-19年
35	移住者が多い					
35	農産物と演劇工場					
35	四季					

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴◎ (第1回ワークショップ) |

■あまり満足していないもの△

番号	△満足していないこと	性別	年齢	エリア	出身	住居期間
1	市政の住民説明がある_行財政	男性	40代	布礼別	道外	10-19年
1	市政の住民説明がある_行財政	男性	70代	山部	道外	5-9年
1	市政の住民説明がある_行財政	男性	50代	北の峰・御料	富良野市	20年-
1	市政の住民説明がある_行財政	男性	60代	山部	富良野市	20年-
1	市政の住民説明がある_行財政	男性	80代以上	北の峰・御料	富良野市	20年-
2	地域コミュニティ活動と行政が連携している_行財政	女性	40代	市街地東	道外	10-19年
2	地域コミュニティ活動と行政が連携している_行財政	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
2	地域コミュニティ活動と行政が連携している_行財政					
3	公民館施設が充実している_行財政	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
3	公民館施設が充実している_行財政	男性	60代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	20年-
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	女性	40代	鳥沼・大沼・扇山	道外	10-19年
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	男性	40代	布礼別	道外	10-19年
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	女性	50代	山部	道外	20年-
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	女性	40代	市街地東	道内	10-19年
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	男性	40代	市街地西	道内	20年-
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	男性	50代	北の峰・御料	富良野市	20年-
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政	女性	60代	市街地東	富良野市	20年-
4	富良野市として強みを理解して税金をかけている_行財政					
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	女性	40代	鳥沼・大沼・扇山	道外	10-19年
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	男性	70代	山部	道外	5-9年
5	文化に対する教育・設備が充実している_教育	男性	30代	扇山	富良野市	20年-
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	女性	10代	市街地東	道外	5-9年
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	70代	山部	道外	5-9年
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育		30代	市街地東	道内	10-19年
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	女性	20代	北の峰・御料	富良野市	10-19年
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	20代	山部	富良野市	20年-
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	30代	市街地東	富良野市	10-19年
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	30代	扇山	富良野市	20年-
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	50代	北の峰・御料	富良野市	20年-
6	スポーツに対する教育・設備が充実している_教育	男性	60代	山部	富良野市	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	男性	40代	市街地西	道外	5年未満
7	IT分野の教育が充実している_教育		40代	北の峰・御料	道外	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	女性	50代	鳥沼・大沼・扇山	道外	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	男性	40代	市街地西	道内	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
7	IT分野の教育が充実している_教育	男性	30代	山部	富良野市	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	男性	50代	市街地西	富良野市	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	女性	60代	市街地東	富良野市	20年-
7	IT分野の教育が充実している_教育	男性	80代以上	北の峰・御料	富良野市	20年-
8	家庭内の教育に対してフォローする仕組みがある_教育	男性	50代	市街地西	道内	5年未満
8	家庭内の教育に対してフォローする仕組みがある_教育	男性	20代	山部	富良野市	20年-
9	保育施設が充実している_教育	男性	30代	布部・五区	道外	10-19年
9	保育施設が充実している_教育	女性	20代	北の峰・御料	富良野市	10-19年
9	保育施設が充実している_教育	男性	60代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	10代	市街地東	道外	10-19年
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	10代	市街地東	道外	5-9年
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	40代	市街地東	道外	10-19年
10	子供の遊び場が多い_教育		40代	北の峰・御料	道外	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	40代	市街地東	道内	5-9年

10	子供の遊び場が多い_教育	男性	40代	市街地東	道内	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	10代		富良野市	10-19年
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	20代	北の峰・御料	富良野市	10-19年
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	20代	山部	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	30代	山部	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地西	富良野市	10-19年
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	30代	北の峰・御料	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	扇山	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	30代	市街地東	富良野市	10-19年
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	女性	40代	市街地東	富良野市	20年-
10	子供の遊び場が多い_教育	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
11	子育て支援制度が幅広い_教育	男性	40代	市街地西	道外	5年未満
11	子育て支援制度が幅広い_教育	女性	40代	鳥沼・大沼・扇山	道外	10-19年
11	子育て支援制度が幅広い_教育	男性	40代	市街地東	道内	5-9年
11	子育て支援制度が幅広い_教育	女性	40代	市街地東	道内	10-19年
11	子育て支援制度が幅広い_教育		40代	北の峰・御料	道内	10-19年
11	子育て支援制度が幅広い_教育	女性	30代	山部	富良野市	20年-
11	子育て支援制度が幅広い_教育	男性	30代	市街地西	富良野市	10-19年
11	子育て支援制度が幅広い_教育	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
11	子育て支援制度が幅広い_教育	女性	30代	北の峰・御料	富良野市	20年-
11	子育て支援制度が幅広い_教育	男性	70代	市街地東	富良野市	20年-
14	東大演習林がある_教育	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	男性	40代	布礼別	道外	10-19年
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育		60代	山部	道外	5-9年
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	女性	40代	市街地東	道内	10-19年
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	男性	60代	北の峰・御料	道内	20年-
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
15	グローバルを見据えた教育環境がある_教育	男性	80代以上	北の峰・御料	富良野市	20年-
16	公園が充実している_教育	女性	10代		道内	
16	公園が充実している_教育	女性	10代		富良野市	10-19年
16	公園が充実している_教育	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
16	公園が充実している_教育	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
16	公園が充実している_教育	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
18	環境問題に対応している_暮らし	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
18	環境問題に対応している_暮らし	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
19	ペットに優しい_暮らし		30代	市街地東	道内	10-19年
20	買い物に困らない_暮らし	男性	10代	市街地東	道外	10-19年
20	買い物に困らない_暮らし	女性	40代	東山	道外	5年未満
20	買い物に困らない_暮らし	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
20	買い物に困らない_暮らし	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
20	買い物に困らない_暮らし	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
20	買い物に困らない_暮らし	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
20	買い物に困らない_暮らし	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
20	買い物に困らない_暮らし	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
20	買い物に困らない_暮らし	女性	10代	市街地東	富良野市	10-19年
20	買い物に困らない_暮らし	男性	10代	布部・五区	富良野市	10-19年
20	買い物に困らない_暮らし	男性	10代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	10-19年

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴△ (第1回ワークショップ) |

20	買い物に困らない暮らし	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
20	買い物に困らない暮らし	男性	20代	山部	富良野市	20年-
20	買い物に困らない暮らし	男性	30代	山部	富良野市	20年-
20	買い物に困らない暮らし	女性	40代	市街地東	富良野市	20年-
20	買い物に困らない暮らし	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
20	買い物に困らない暮らし					
20	買い物に困らない暮らし					
22	除雪体制が充実している暮らし	女性	10代		道内	
22	除雪体制が充実している暮らし	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
22	除雪体制が充実している暮らし	女性	30代	市街地東	道内	10-19年
22	除雪体制が充実している暮らし	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
22	除雪体制が充実している暮らし	女性	10代	山部	富良野市	10-19年
22	除雪体制が充実している暮らし	女性	30代	北の峰・御料	富良野市	20年-
23	乳幼児支援が手厚い暮らし	男性	30代	布部・五区	道外	10-19年
23	乳幼児支援が手厚い暮らし	男性	40代	市街地西	道外	5年未満
24	高齢者福祉施設が多い保健・医療・福祉	男性	50代	市街地西	富良野市	20年-
24	高齢者福祉施設が多い保健・医療・福祉	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
24	高齢者福祉施設が多い保健・医療・福祉	男性	70代	市街地東	富良野市	20年-
24	高齢者福祉施設が多い保健・医療・福祉					
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
25	医療が充実している保健・医療・福祉	女性	50代	山部	道外	20年-
25	医療が充実している保健・医療・福祉		60代	山部	道外	5-9年
25	医療が充実している保健・医療・福祉	女性	10代		道内	
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	40代	市街地東	道内	20年-
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	40代	市街地東	道内	5-9年
25	医療が充実している保健・医療・福祉	女性	40代	市街地東	道内	5-9年
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	30代	市街地東	富良野市	20年-
25	医療が充実している保健・医療・福祉	女性	30代	山部	富良野市	20年-
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	30代	市街地西	富良野市	10-19年
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
25	医療が充実している保健・医療・福祉	男性	70代	市街地東	富良野市	20年-
25	医療が充実している保健・医療・福祉					
25	医療が充実している保健・医療・福祉					
26	地域包括支援の仕組みがある保健・医療・福祉	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
26	地域包括支援の仕組みがある保健・医療・福祉	男性	50代	市街地西	道内	5年未満
28	農業支援が手厚い産業	男性	30代	布部・五区	道外	10-19年
28	農業支援が手厚い産業	女性	50代	山部	道外	20年-
28	農業支援が手厚い産業	男性	40代	市街地東	道内	5-9年
28	農業支援が手厚い産業		60代	山部	富良野市	20年-
30	飲食店が充実している産業	女性	10代	市街地東	道外	5-9年
30	飲食店が充実している産業	女性	40代	東山	道外	5年未満
30	飲食店が充実している産業	女性	40代	市街地東	道外	10-19年
30	飲食店が充実している産業	女性	50代	鳥沼・大沼・扇山	道外	20年-
30	飲食店が充実している産業	女性	10代	市街地東	道内	10-19年
30	飲食店が充実している産業	男性	20代	市街地西	道内	5年未満
30	飲食店が充実している産業		40代	北の峰・御料	道内	10-19年
30	飲食店が充実している産業	男性	10代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	10-19年
30	飲食店が充実している産業	女性	10代		富良野市	10-19年
30	飲食店が充実している産業	男性	20代	山部	富良野市	20年-
30	飲食店が充実している産業	女性	40代	市街地東	富良野市	20年-
31	6次産業が盛んである産業	男性	40代	市街地西	道内	20年-
31	6次産業が盛んである産業	男性	60代	北の峰・御料	道内	20年-
31	6次産業が盛んである産業	女性	60代	市街地東	富良野市	20年-
32	イベントが充実している産業	女性	10代	市街地東	道内	10-19年

| みんなが感じている富良野 | 芽1-2 | 富良野の特徴△ (第1回ワークショップ) |

32	イベントが充実している産業	男性	10代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	10-19年
32	イベントが充実している産業	男性	20代	山部	富良野市	20年-
32	イベントが充実している産業	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
32	イベントが充実している産業	男性	50代	市街地西	富良野市	20年-
32	イベントが充実している産業	男性	60代	鳥沼・大沼・扇山	富良野市	20年-
33	移住者を受け入れる体制が整っている産業	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
33	移住者を受け入れる体制が整っている産業	男性	30代	市街地西	道内	5-9年
33	移住者を受け入れる体制が整っている産業	男性	60代	北の峰・御料	道内	20年-
34	雇用が多くある産業	男性	10代	市街地東	道外	10-19年
34	雇用が多くある産業	男性	30代	市街地西	道外	5年未満
34	雇用が多くある産業		40代	北の峰・御料	道外	20年-
34	雇用が多くある産業	女性	40代	東山	道外	5年未満
34	雇用が多くある産業	女性	50代	鳥沼・大沼・扇山	道外	20年-
34	雇用が多くある産業		60代	山部	道外	5-9年
34	雇用が多くある産業		40代	北の峰・御料	道内	10-19年
34	雇用が多くある産業	男性	40代	市街地東	道内	20年-
34	雇用が多くある産業	男性	30代	山部	富良野市	20年-
34	雇用が多くある産業	男性	40代	市街地東	富良野市	20年-
34	雇用が多くある産業	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
34	雇用が多くある産業	男性	40代	市街地西	富良野市	20年-
34	雇用が多くある産業	男性	50代	市街地東	富良野市	20年-
34	雇用が多くある産業					



問い1: 可能性を感じるもの	問い2: 心配や不安なこと	問い3: その他の自由な吹き
病院や施設などが充実	飲食店が少ない	家賃が高い
町や駅から近い清水山がある	西地区との行き来がしやすい(線路)	飲食店が少ない
ワイン工場、飲食店	中心部に行きにくい	西との見えない壁
ワイン果汁工場OFF期の活用方法	医療に力を	市の中核を担っている
子供多い	西との行き来が大変	コンシェルジュ富良野の出入りを多くしたら良い
人気のワイン工場がある	お店が少ない	スーパーが春日店のみあとコンビニ
病院	医師不足	ワインの研究をもっと
ワイン工場のこれから	授業中の救急車のサイレン	買物できる場所を増やす
お店が多い	若い人がいない	家賃が高い
清水山からの眺め	定住の医者がない	住居地域が静かな
ワインがある	水害が心配	もっと遊びや遊具や公園の活用を
元気なお年寄りが多い	スーパーが少ない	商業施設・文化施設があっても良いかも
病院・歯科	バツと思いがぶもがない	清水山の活用
清水山に子どもの遊び場を	10年から20年のケアは?	病院の先生が少ない
病院ある	飲食店が少ない	家賃が高くてすみにくい
協会病院がある	家賃高い	除雪が遅い
ワイン工場	高齢者多い	買物が不便
駅裏だけど、新しく開ける	二次交通不足	清水山は富良野の宝です。
ワイン工場が良い	線路で分断	激アツ銭湯復活
医療機器の充実と安心がある	店がコンビニのみ	遊べる場所が少ない
ワイン畑・施設	みずほ公園を整備・新しくしてほしい	住宅がおおい
病院が大き	高齢化	世代がこれから入れ替わる地域
ワインハウスがおしゃれ	子ども少ない	公園多いかも
病院近い	移住転入が少ないように思える	ベベルイ川の氾濫
富良野ワイン工場が良い	協会病院の先生が少ない、出産対応できる先生も少ない	スーパーやドラッグストアを作って欲しい
公園が綺麗になってきている・住居マンションが増加	周りはお年寄りが多く、人口減が心配	遊休土地をできる
線路が街を分断、往来が不便	台風きたら洪水になりそう	フラノビジュ・たにじん、ナポレオン食堂の並びが良い
開発が進んでいる	お年寄りが多く気がする	観光するところが少ない
自然が盛りだくさん	印象が薄い	福祉と医療
協会病院	買物	建物が低く安心感がある
病院が多い	店がない	
十勝だけが見える住宅街	水はけが悪い	
	買物が不便かも	
	バスが少ない	
	買物不便	
	店足りない	
	高齢者が多い	
	お年寄りが多い?	
	高齢化	
	高齢化	

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。



問い1: 可能性を感じるもの	問い2: 心配や不安なこと	問い3: その他の自由な吹き
観光客が多い	外国人に売れた土地の行方	開発ホテル
ホテルが有名	海外資本の参入	外国人と仲良くなれる
観光の拠点	話せる英語教育	文化のイメージ(御料)
プリンス・ニングルの観光客が増える	外国人が増えている	スキー場がどうなっているかトマミみたいに?
地価が上がる	地元民と外国人のコミュニティ	街との間に電車があると素敵
スキー場	外国人対策	日本や富良野じゃ無くなりそう
海外の住人が多い、人が増えて観光客が着しくて対応が回らない	外国人の対応	スキー場の今後
外国人需要・インバウンド	外国資本	スキー場を立て直し、トイレがひどい
観光客が多い	市民の英語力、中国語力を高めて	地も都民がもっとスキー場利用
外国のユニークな文化と共生	観光客、特に外人のマナー	外国人たくさん
観光地が多い(スキー・プリンス・ニングル・演劇工場)	外国人が増えて今後の治安が心配	住宅街の除雪
市民向けの観光・飲食・イベント	外国人との共生ができる	家賃が高い、土地が高い
北の峰山頂、ジャイアントからの雲海や観日	水源の確保	スキー場盛り上げて
なまこ山活用	スーパー病院生活がない	ホテルたくさん
夏のスキー場の活用	車のない人の移動手段	スキー場がある
雲海活用	心配はなし	土地の値段が高い
外国人チャンス	気軽に入れる飲食店が少ない	住民とスキー資源との架け橋
ホテルが多い	乱開発	スキー
グローバル化	外国人居住者の増加で町内会活動が大変	中国資本
スキー場	熊が出る	交通不便
外国人移住者・開業者	地元から離れ行く感じ。。。	別荘多い
山キレイ	学校遠い	外国人とのコミュニケーション
スキー場	坂道年取ると大変そう	旧北の峰の活用
スキー場に可能なものたくさんある	宿泊施設が多い、スキー場周辺の観光	スキー場
外人増える	店が充実	スキー場がある
	責物	インターナショナルスクールできませんか?
冬のスキー・夏の可能性に魅力を	観光客向けは充実している	外国資本のホテルペンションが増える
外国人移住者と仲良くしている(交流)	坂道が多い	スキー場が大きい
スキー場市街地から近い	観光重視一居住者への配慮	地価高騰
住み続ける	土地がめっちゃ高い	商店コンビニが増える
スキー場は富良野No1の観光資源	ニセコになるの?	外国人スキーヤーたちの集まる地域
景色がキレイに見える	中国人が増えても大丈夫?	外国人多い
多様なコースのスキー場	坂道がきつい	外国人との共存
雲海をもっとPR	外国人との共存	観光客がいない時の飲食店の辛さがあると聞いた
山がキレイ	観光客がいない時の飲食店の辛さがあると聞いた	新しい街になりつつある
山の山頂に写真展を作り撮影→プリント		スキー、スノボだけではない雪で遊べる
サービス	富良野で無くなりそう	スポットが欲しい
自然を活かしたい間きう産業	町内会費問題	住民と外人が仲良く住めずように
	外国化しつつある	外国人環境客との交流
	外国資本による土地売買→外国人の侵入	栄えている
	外国人、企業、買収問題	外国人に日本語学校があれば
	中国資本の開発(ゴーストタウン化)	

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。



問い1: 可能性を感じるもの	問い2: 心配や不安なこと	問い3: その他の自由な吹き
農業するには良いところ	鳥沼公園を自然のままに	鳥沼公園の駐車場が広いと良いな
鳥沼公園	人口減少	鳥沼公園をもっとPR
フラノバーガー	公園の活用を	クワガタ取れる
鳥沼活用・公園・フィットパス	公園近くの施設を増やしたい	鳥沼公園の活用
フラノバーガー	道路の整備、子供が危ないように	鳥沼公園がある
鳥沼公園	今後の鳥沼活用	農家が多い
国の予算	公園の活用	水が綺麗
		ニジマスがいなくなった、昔えさまきが楽しかった
フラノバーガーに来る人いっぱい	木があって自然としては良いが夜は怖い	
	作物のブランド化、ここでしか取れないもの	中学生と一緒に帰れる友達が欲しい
鳥沼公園がある	鳥沼公園の水の汚染	FBの集落をさらに高めるお店を増やす
鳥沼公園	地下水確保	農家が多い
フラノバーガーとの関わりを	世帯減少	意外に人が多かった
鳥沼公園と農作物	鳥沼公園の活用	鳥沼公園の散歩が気持ち良い
FB	水害があった時の心配	FBうまい
鳥沼公園をもっと利用してほしい	農業を続けてくれる人がどのくらいいるか？	農業後継者少ない
自然も綺麗	人家の点在	
鳥沼公園大好き	みんなで使える施設がない	
農作物のブランド化	農作物に核的ものがない	
ストレス解消に水辺最高	扇山小学校の子供が少ない	
親父会で扇山小学校をカバしている	扇山小学校の子供が少ない	
鳥沼公園	小学校の生徒数減	
公園で遊べる	農業人口の減少	
畑が多くて景色がいいです	除雪が大変そう	
	ダンプやスピードを出す車が危ない、通学路や鳥沼公園の近くなど	
鳥沼公園の自然	FBに人が並ぶので車が危ない	
ホテル	交通が不便	
鳥沼公園	子供が少ない	
農家でない人が住み始めている	高齢者が多い	
鳥沼公園の綺麗な水		
鳥沼公園をキャンプ場に		
鳥沼公園の水が綺麗		
鳥沼公園フォトウェディングで活用		
鳥沼公園		
玉ねぎ畑が盛ん、FBがおしゃれ		

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。



問い1: 可能性を感じるもの	問い2: 心配や不安なこと	問い3: その他の自由な吹き
アイスcreamが美味しい(チーズ工房)	学校の小規模化	玉ねぎ
町から比較的近い農村	人口減少	西岳登山基地
地域に根ざした小中学校	微妙な位置	石鎚山を産業遺産に
自転車サイクリンが可能、春・秋に良い	川が近い・災害... etc	高速道路
布部駅	買い物不便	北の峰病院がある
太鼓(いやさか)すごい	交通の便	道路ができる
おしゃれなカフェが多い、好き	交通量が少ない、スーパーない	観光客にとっては顔
観光客も訪れるチーズ工房	駅がなくなる	あまり行かない
チーズ工房をもっとPRを	買い物少ない	実はなくてはならない存在(医療・福祉・観光)
学校社の活用	今後の集落	さみしい感じ
農業	小学校の閉校	高速道路
西岳登山	チーズ工房周辺の再建	札幌軒
景色	チーズに工夫が少ない	馴染みがなくわからない
カフェが多い	光ケーブル来て欲しい	布部駅
チーズ工房	学校保育の支援	ラーメン屋が無くなったのがさみしい
緑いっぱい良い。チーズ工房までの道が北海道	学校がいつまで残るのかな	玉ねぎ
製材所が唯一残っている	小中学校の存在	チーズ工房の近くに関連した場所をもっと作って欲しい
学校の野菜を全国に販売	布部小学校の生徒が少ない	布部、町と山部どっち付かずにならないか
住宅地に	市街地が既に亡くなっている	バスの本数増やして欲しい
チーズ工房がある	20年・30年後存続	観光の中心になる可能性あり
チーズ工房楽しい	布部の人口減少	光回線欲しい
星がキレイ	あまり思い浮かばない	
学校のキャラクターの犬	学校の存続	
世界のチーズ村にして欲しい	人口減少	
布部小中学校	人口減少	
小中学校の教育	老後の買い物(店がない)	
	学校を続けて欲しい	

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。



問い1:可能性を感じるもの	問い2:心配や不安なこと	問い3:その他の自由な吹き
みんなの統一感	人が少ない	自然
アンパンマンショップ	人が少ない	自然が多い
アンパンマンショップ	人口減	開発は絶対要らない。残してほしい地域
アンパンマンショップ	車がないと行けない	ちょっと遠い
ガラス工房がステキ	住民が少ない	自然を生かした産業
北の国からの施設行ってみたい	人口減	冬がとってもいい!
観光地と言うイメージ「北の国」「アンパンマンショップ」	車がないと行けない(バスもアンパンマンまで行かない)	自然が多い
北の国から	心配なし	あまり行かない
観光施設×自然	観光地だけど通いづらい	関係住民人口が増えつつある
ガラス	人口減少	北の国からの卒業
ガラス館	買い物が不便	人口が少ない
グラスフォレスト	学校の存続	自然保護地区にしたらどうか?
ジャム園	雨で川が溢れる	東大演習林を活用
アンパンマンショップ/ジャム園	ある種今までのブランドが続く	シカと出会う
国道の桜	宿を増やしたい	今のままを大切にしたいけど、生活しやすく
星が綺麗を活かして欲しい	老人が多く、離農する人が多い	飲食の名物があったら良い
北の国から	病院など、皆で利用できる車	環境の維持
飲食店がある	北の国からこれからどうする	北の国からを伝説にするための施設を
北の国からが今でも続いている	冬に行くイメージがない	魂がキレイになる場所
原子の泉	人口減少	
ガラス工房がある	交通の便	
ガラス工房などを活かしていく	北の国からの今後の位置付け	
ガラス/北の国から	人口が増えなさそう	
北の国からの余波が続いている	バスなどを使った公共の足の確保	
麓展望台が素晴らしい	冬の交通が不便	
自然が素晴らしい	人口が少ない	
観光	小中学校が1つしかない	
クリエイティブな活動/農産物	限界集落	
北の国からのアビール	北の国からがある	
北の国からのロケ地		
北の国から		
広い土地		
星空		
北の国からの雰囲気は大切にしたい		
アンパンマン・ジャム園は地元民でも何回もいく		
自然を活かした新しい観光		
アンパンマンミュージアム×マルシャイイベント		
展望台、アンパンマンの活用		
オルゴール・アンパンマン・グラスフォレスト		
住民団結力が強い		
自然が豊か麓展望台		
観光施設がまだまだある		
地域が頑張っている		

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。



問い1: 可能性を感じるもの	問い2: 心配や不安なこと	問い3: その他の自由な吹き
紅葉スポットとして推す	クワガタ少なくなった	何があるかわからない
原子の泉	人口現象(子供)	広大な土地を利用できないか
原子の泉の水が美味(レストラン使えば)	店が少ない	特徴が生かされていない
景観眺め良いかも	買い物場所	あまり行ったことがない
景色が良い	人口が少ない	八幡丘の写真スポットを有名にしたい
農業(名産)	原始の泉があまり聞いたことがなかったので地名度あげる	とっても癒される(二人ドライブに最適)
景色	人口減	地元ではないので正直どこにあるか分かりません
若手農家が頑張っている	人口減少	自然セミナー体験学習の拠点とする
原始の泉の水販売	20年・30年後消滅しててそう	自然が豊か
見晴らし	農業の後継者	マール富良野・6次産業が盛んになれば良い
原始の泉、東大演習林に魅力あり	人口減少	星がキレイ
写真スポット多し	農業人口が減退、空き家が増える	水場を作る
広大な畑、丘の景色がキレイ	人気減少	空気が良さそう
クワガタいっぱい	農業の後継者不足	安全な食物を
観光	車が急に停止したりなど、危ないことがある	牛
原始の泉	農業の後継者	特別支援学校を作る
クワガタ取れる	小学校の存続	丘の景観を守る
山がキレイ	人口減少	メガファーム(酪農)
玉ねぎハートヒル良い	10年後無くなりそう	
原始ヶ原登山	あまり行くことがない	
自然が豊かな景観	場所がわからない	
牛乳	場所がピンとこない	
原始ヶ原泉、天然の水が組める	医療問題	
牧場	農業衰退を防ごう	
自然を生かす	農地集約	
夕日ハートヒル	人口減る	
水が美味しい	農業を守る	
	災害時に孤立するのでは?他市町へはいける	
放課後教育の取り組み	将来の働き手	
農村景観	酪農の今後	
景色はキレイ	子育て世代はどうしてる?	
星がキレイ	学校がなくなるかも	
農業	保育園学校不足	
登山を利用	年寄りが多い	
超うまい、ビックなバーバー	場所が少ない	
景色		
子供達が少ないが元気		
牧場		
トイレのボランティア活動		
農業が盛ん		
自然		
原始ヶ原登山・丘りょうの活用		

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。



問い1:可能性を感じるもの	問い2:心配や不安なこと	問い3:その他の自由な吹き
雪まつり	外人の変な犯罪が増えている	太陽の里に行く以外特に行かない
太陽の里のキャンプ場は使いやすい	教育施設が少ない	太陽の里をもっと綺麗にして人が集まる場所へ
東大演習林	買い物が不便かも	住民の団結力
太陽の里をもっと有効活用できそう	人口現象、高齢化のスピードが早い	道にメロンや多い
文化活動が盛ん	中学校がなくなる、西中への登校が大変	太陽の里、戸別岳など自然資源が多い
山ブーム、戸別岳	中学校がなくなって子どもが減らないか?	活動力がある
太陽の里	病院	太陽の里に来る人を増やしたい
自然を活かした施設がある	小学校存続	山部を活かした大イベントを開催して欲しい
東大演習林	中学校がなくなる	若い農家さんたちが多い
東大演習林の利用	商店が無くなりそう	キャンプ場をもっと活かして
夏のふれあい祭り・冬のちびっこ雪まつりに力が入っている。景品豪華で毎年楽しみ	JRがなくならぬように	万華鏡ミュージアムがなくなったのは残念
強い独自性	熊が出る	太陽の里がなんとなく勿体無い
自然の活用	人口減少	東大演習林誇れる
農業・自然	学校	東大演習林大好き
たくさんの社会資源があるので交通便が良いと多く人が来る	買い物が不便そう	野球場
農業	文化的なものが薄くなった	人口が少ない、若い人が少ない
農業盛んでメロン、ねぎ、米	人口現象の影響が大	避難場所をなんとかして欲しい
キャンプ場	生徒が少ない	HBLが来年でできて盛り上がる
農業	戸別岳キャンプ場	オートキャンプ場化したら良いのでは?
自然が綺麗なところにキャンプ場がある	学校なくなったら人口減に	学校が閉校になるとはさみしい
農業(メロンなど)	地域の活動をもっとPRを	ナイター野球
博物館の展示が良い	人口少ない	釣りができる
戸別岳	JRどうする?二次交通は?	イベント多い
メロン街道	人口現象	そば、メロン
地元の人が元気で活発な活動がある	街灯が少ない	桜きれい
山部青年部の活躍に期待している	Aコープ無くさない為にもっと買い物を	
太陽の里	中学校閉校に伴う人口現象	
戸別岳をもっと活用	中学校がなくなっちゃう	
ふれあい祭りなどイベント多い	太陽の里の活用をさらに	
合宿所	ホクレンショップスーパーは死守	
盆踊り	山中閉校	
メロン直売	JR問題	
NPOなど独自の地域活動	中学校の活用	
太陽の里をもっと大切に	中学校廃校後の人口減	
東大演習林のアピール	人口現象	
様々な取り組み、コミュニティが活性化の力になっている		
太陽の里		
キャンプ場		
メロン産地		
無料のキャンオプ場は最高		
生涯学習センターの活用		
メロン、スイカ、美味しいブランド		
HBA選手がいる。(若者多い)		
太陽の里無料キャンプ場		

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。



問い1: 可能性を感じるもの	問い2: 心配や不安なこと	問い3: その他の自由な吹き
農村景観	人口減少	農作物十勝への拠点にしたなら
絶景	人が居なそう買い物は?	何もないな
農業が盛んで自然豊か	病院、買い物、遠い	ドーナツ美味しい
景色	農業の担い手不足	行く機会がない
直売所	商店が少ない	6次化産業
富良野とは違う角の山景色	病院が遠い	不便
ドーナツ屋さんに期待	買い物する場所がない	農業
エオ種	病院・交通	帯広までの通り道
景色	遠い(買い物・病院)	ここもシカと出合える
農作物の充実	シャッターが閉まっているところが多い	十勝へのアプローチがしやすい場所
何もないからアットホーム	人口減少	若い人が少ない
ドーナツ	学校	カフェ
自然が豊か	人口が少ない	協力隊活動
農作物	子供の習い事や部活の限界	富良野の産業基地にする
農業	人口減少	熊が出没するイメージ
機をつながら(農家同士)	耕作地の維持	フィッシングができる
農作物	離農する人が多い	樹海・湧き林の魅力
プリン	人口減少	農家が多い
自然	人口が少ない	農業
ドーナツ	人口減少	畑が多い
ユリ根が有名	若い人が少ない	遠い
フォトコンテスト	人口減少	行かない
東山フォトコンテスト頑張っている	かなり厳しい地区	限界集落
フォトコンテスト	人口減少	生まれ育ったところ、良いところになった
直売所	人が少ない	あまり印象がない
えんわどう	人々の交通手段がない	畑が多い
最近、地域おこし協力隊が頑張っている	人口減少	プール貸切みたい
イメージ	人口減少	演習林にこちらからも入れるように
帯広の通り道(なつぞら)で何かできない?	人口減少	
場所があるため、スポーツできる敷地にして人が集まる場所にする	一番人口減少が進んでそう	
自然	福祉・医療・介護・保育・教育	
野菜とか売ってる	集落が無くなりそう	
緑輪堂	街に人が少ない	
移住者が就農している。	学校統合	
若者が頑張っている	人口が少ない	
地域おこし協力隊の活動	空き家問題	
良い釣りポイントがある	農業人口の減少・取り組みでフットパス	
保・小・中の連携	取り入れがよい	
	過疎化・店がない	
	子供が少ない・合併問題(学校・保育しよ)	
	人口減少	
	バスがなくならないように	
	人口減少	

※ポストイットの内容をそのままテキスト化しています。

テーマ:『富良野市のユニークポイント』を見つける／磨く／新たに創り出す
チーム:第1回ワークショップ/チームA-1



テーマ:『富良野市のユニークポイント』を見つける／磨く／新たに創り出す

ホールニューマンがドレッシングでアメリカで大ヒットした
 宣伝の仕方が弱いから
 どっかとコラボしたらいい
 どっかの企業とか
 ゆめぴりかとか

観光客が多い
 北の峰観光客多い
 外国人しかいない
 土地売買
 怖いし大丈夫なのかな
 中国、オーストラリア系
 来るのは素晴らしいありがたい
 人が来て何人でもいい、お金を使ってくれるのはありがたい
 今は外国人がすごく多い
 土地を買ってどうこうじゃなく、
 来てくれて宿泊、食べて、お金を落としてくれるのはありがたい
 もっともっと来てほしい
 外国の方がやった方がコミュニケーションもうまくいくし、サービスも相手と通じるところが多いから、日本人が増
 えて富良野は遅れてる
 トナムとかはほとんど従業員は外国の方がやってるのが多い
 英語が堪能な人はまだ少ない
 その人たちがそこに住んで家族つれてきてちょっとでもやってくれれば助かる
 移住者
 子供たちの価値観も変わってくると思う
 これからグローバルな英語とか習慣は違えど根っこは同じところがきつとあると思う
 すごい事だと思う
 悪いことではない
 地元富良野の人とどうコミュニケーションをとるか
 よくケンカするのはコミュニケーションができてなくてお互いが勝手に妄想というか外国の人がこうだろうと決め
 つけが多かったりする
 決めつけが多い
 決めつけがないのが大事
 ハワイなんかもそうですが、観光客にたくさん来てもらうには富良野は自然産業観光農産物農家だと思う
 環境部がもっともっと伸びると思う
 看板だとかが景観を壊すような看板だとかが日本はものすごく多い
 そういふのをもっと基礎を作って色の使い方
 景色を生かす

ただ来て食べることじゃなく
みんなが求めてるのは体験

A店でアルバイトをし始めて思ったこと
春と秋が少ないと改めて思ったから春と秋にも外国人がたくさん来るようなことがあったらいいな
野菜もないし雪もびちゃびちゃ
でも来ないところをなんで来るようにしなきゃいけないのか
飲食店は厳しい
働いてる人はいる
通年みんなが来てくれるような何かをしていけたら
上限なくここって決めてそれを常に現金でやっていったらいいんじゃないかな

移住者
優秀な人材
10年後20年後生産年齢人口が減る
そこら辺は移住で対応できるかわかんない
新規就農で農業をやる
年齢をいっても仕事ができる
そういうのがあったらいいよね
農業は人手が足りない
農業はおじいちゃんおばあちゃんもやってる

どうやったら富良野に移住してくれますか
魅力
仕事と住むところ
仕事がまず1番
なくても来てできる仕事があればそれでもいいけどね
演劇をやっていて名古屋から移住
演劇が目的で来たときは家族で住むときにサービスが満足できるレベルにあるかはでかいですね
心配だったのはちょっと、それで来る人もいるけどそれが廃れていっちゃうとなかなか来づらいですよ
西達布とかだんだんなくなっちゃう
農家に何かしらの魅力なりこういうことしてんだよっていう
歳いったら病院だとか買い物だとかの現実問題がありますけど移住考える際に
伊達だとかが人気なのは街の中にそういったのを固めてて車がなくても住むことができる
そういうことだったりする
東山は今コミュニティーカーがあるから交通機関はまだいいのかなっていう
コミュニティーカーは50円か100円の格安で乗れたりする
予約して時間で乗れる
でも光通信は入らない
ここが充実すれば家で在宅でIT関係の人も来れるのに

イベント関係、芸術文化
へそ祭りすごい人集まりますよね
でもとある人はあえてへそ祭りをしない方向でいくのもおもしろいんじゃないか
へそ祭りの枠をあえてないと思って考えたらどんな新しいものがあるのか
どんどん踊る人が減ってる
活気がない
楽しんでやってるって感じない
もっと熱くなるものを
最初は大賞とかなかったけど、それがあってからはね

A店のバイトの子
外国の人来たたら楽しい
英語を使って接客してます

ゴミの分別は大変だけどいい事
リサイクルはリサイクルされてるんですか
微妙だよ
どうリサイクルされてるのか
服とかはリサイクルセンターで販売されてる
ゴミの袋から出して洗ってる
すごい量がある
プラスチックは持ってってくれない
富良野市の塩素の濃度が高くなるからラップとかもプラにいれてとか、一回分別指導を1年か2年前にやった
分別もいいけど基本やっぱり減らす
それをどうするか
市がフリーマーケットをやってる
食べ残しとかも関わってる
子供たちにものを大事にするとか
食べれる分だけ食べる
買い物はエコ袋使う
できること一つでもやってみて

冬の綺麗さも観光 景色
静か 気候 野生動物がいる

これから富良野以外に行こうと
若い人が就職するとき大学行くとき
出ようと思ってる
道内に一個しかない大学とか作る
演劇とか 塾生が作った学校
芸術関係全般 芸術大学

写真

富良野は芸術家が多い
美瑛 東川
市内の学校でも演劇の授業ある
選択科目がある

大学進学で札幌いっちゃうと富良野に戻ろうと
思わない
都会で疲れたら帰ってくるぐらい
家の農業を継ぐか
景色が懐かしくなる
一回出るとはいいこと
社会経験
最後戻ってきてくれて定住してくれれば
一回出て比べないと良さがわからない
修学旅行から帰ってきたら落ち着く
水と野菜が美味しい
景色もきれい

環境

富良野のリサイクルは分別進んでる
それをもっと伸ばせばいいと思う
環境先進地みたいだとびったりくるような気がする
今までの活動も伸ばして
それをPRする
今外国のかたとか企業もそうだけど
そういうことをやらないとお金まわさない
銀行も融資しない
ヨーロッパは特にそう
だから先にやってないと遅れる
選ばれなくなる

たばこの分煙をして
富良野は素晴らしいということを宣伝する
たばこに関しては後進国

育てていきたい今の可能性

演劇文化

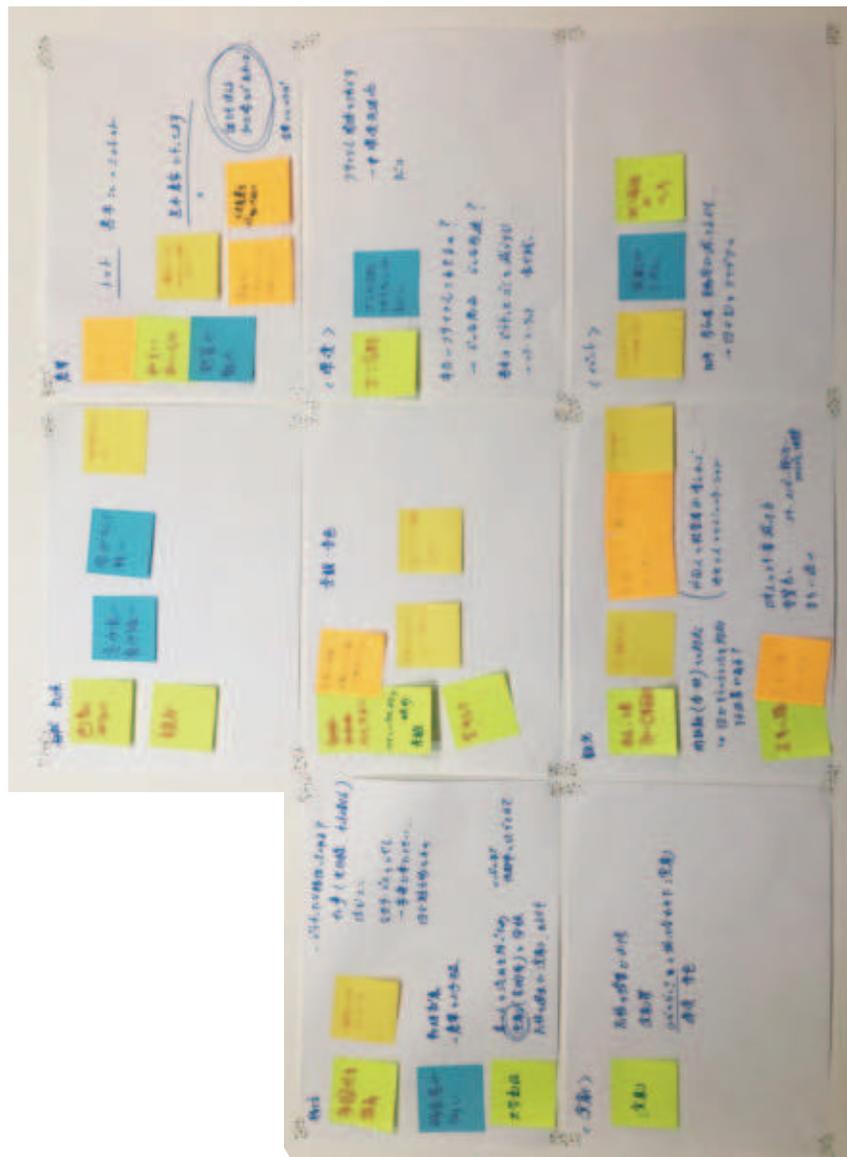
だいぶ育てはきてる
ここではやりたいという人は少ない

やっぱはずかしい
でも先生が言うには自己表現ができるようになるから
進学とかに役立つ
大学に行く人じゃないと演劇授業を選択できない
小学校とかに演劇の太田さんが行って指導してる
ことぶき大学とかそうやって指導してくれる環境なん
て普通ないよね
恵まれてる
富良野の強み
なんでもかけていったらいい
景観がきれいになる
それをマッピングしていったら
それを題材にかけていく
やっぱりここで子供を育てたい
雪にプロジェクションマッピングあったらいい
やっぱり生を見たい

豆におがめずらしい
利用済
乾かすの大変
やる人が少なくなってきてる
豆を乾かして傘みたいに積む

スキー場問題
日本のスキー人口が減ってる
スキー場は外国人だらけ
富良野スキー場は北海道では上位
ニセコはすごい
山が大きく規模がでかい
富良野は町が近い
修学旅行で来た子たちが大人になって来る
スキースノボに頼らない体験
バナナポート
冬のアスレチック

テーマ:『富良野市のユニークポイント』を、見つける／磨く／新たに創り出す
チーム:第1回ワークショップ/チームA-2



1.なまこ山をスポットへ

桂木町や西中からなまこ山見ると芦別岳が春、なまこ山の桜が目の前に雪山が見えて絶景なので、もうちょっと桜を多く、また整備して散歩できるようにしたい。
以前に四国へ旅行に行ったのですが.....頂上にお城があって360度見晴らしがよかった。
なまこ山もそのように活かせると思う。

昔はジャンプ台もあって、見晴らしがよかったが、現在は木々があるので頂上からパノラマで見れない。
北の峰から観光客が歩いていけるスポットへ。
なまこ山は市内の象徴で確かに桜も綺麗ですよ。
頂上には石碑がありますよね。今はその隙間から一部が見える程度ですよ。
昔は良かったよね。
ワイン工場からもみれるけど一望はできない、だけどなまこ山はパノラマだよ。

2.富良野に住んでる人の意識

富良野に住んでる人は様々(移住者など)なので、受け入れる意識や体制がある。
実際に移住して2年の大曽根さん(ファシリテーター)がここで取り組みができてきている状況自体が、移住者や新しい物を受け入れられる富良野の特徴ではないかと思う。
今までこの様な機会があったけど、こんなに人がいなかった。
今日もこれだけの人がきてるのは素晴らしい。
富良野は捨てたもんじゃないと感動した。こんな人がたくさんいると嬉しい。
先ほど若い子とパートナーになって話を聞いたが、東大演習林のことを考えていて、意識が高いと感じた。
また自然が大事にしている、自然が素晴らしいと思う、と言う意見も多く活用についてどうすれば良いのかな?とも考えた。

繋がりを持つようとしている人の意識や意見を持っている人が多いので、それを強みにすれば面白いことできるのでは?課題は皆さんが同じ方向性へ向かっていけるのか?

3.農業と観光の具体性

農業で言うなら食。観光で言うならスキー。につながる。
また、アウトドアを打ち出して遊べると言う雰囲気と環境を作ったら良い。
子供達が遊べる環境が少ない。
昔は太陽の里にアスレチックがあった。今はゴロゴロですが。。

その様な場所は残していけるように考えたい=子供達の未来
それは皆が繋がってないといけないこと。
地域の人の遊び場が観光資源になれば良いと思う。

今まで観光系について話していましたが、
生活面ではどうでしょうか？

4.富良野市民球団→地域活動と農作物で様々なきっかけを

2020年度から国内4番目の独立リーグができる。
当初は美瑛市と富良野市で市民球団を発足するが、
再来年から道内で合計4つの市民球団ができる予定。将来は道内8球団予定

今までにない取り組みなので、観光などをリンクさせて展開できれば良い。
例えばへそマラソンも以前は景品がそんなによく無かったが、今年から景品をメロンなどトマトなど農作物が多く
なり、リンクさせている。
極端に言えば、景品はその様な農作物だけでも良いのではないかと思う。
外部から人が来てもシーズンで採れる野菜さえ揃えていれば、皆が喜ぶ。
野球しに富良野へ行ったらメロンもらって帰った。など、面白いと思う。
野球のクオリティを上げていくことも必要だが、市民球団なのでまずは見に来てもらえるきっかけとして、特産物と
リンクできればと考えている。
ファイターズもそうで、お父さんは楽しいけど家族はいまいちな部分もあるので、子供が遊べるスペースを作っ
ていた。
その様な皆が楽しめる環境作りも必要だと思う。楽天は焼肉ができる。
選手が働き手→選手たちが地域の働き手や担い手にもなりうる。シーズンは7ヶ月あるから平日は午前は仕事、午
後は試合など、
仕事ができるマッチングがあれば現実的な働き手になる。WinWin

5.Uターン組が安心して暮らせる雇用関係

どこも人材を求めている人がいないって言う。
でも意外と働きたいって言う人もいる。でも条件が合わない人が増えてきている？質(条件や融通)が重要？
主婦などの事情(子供の都合で)簡単に働ける雇用形態(1時間~2時間)があれば良い？
例えばウーバーイーツなど、空き時間で仕事ができる仕組みがあれば良い。若い子はバイトしてる？
学生は昼の学業もあるので、バイトはフェードアウトしちゃう人も多い。

アプリなどを作って、利便性のあるマッチングサービスがあれば良い？
声を出しやすくしたい、特に主婦が家にいるとクローズになるので、主婦も出たいと願っている。
雇用の間口を広げて欲しい。
例えば郵便局の場合、定時があって休日数も給与も決まってるって雇い主の「粹」が決まっているが、皆で声をあげ
て、その様な条件を取っ払った体制が欲しい。

6.学生の現状

自分なぜバイトしないか？と聞かれるが、土日で美瑛町にある国立大雪青少年交流の家へ行って授業のお手伝
いをしているので、一箇所での雇用形態は難しい。なので、タイミングよく働ける場所と条件があれば働きやすい。
自分以外もその様なニーズを持った学生もいると思う。

7.へそ祭りの改善

もっと市民が楽しめる様に考えないとなくなるのでは？と思う。
市民が楽しめる様にへそ祭りを改革しないと！
参加は結構大変、図バラなどの準備など。。。絵師が足りない？
参加者もいろいろで、法人は嫌々出てる人も多い？平日は仕事の一環？でも土日だと休みの日に出なきゃいけない
からその様な会社の踊り手は楽しくないかも。
毎年強制的に出てる人も多く、踊り手が楽しくないと意味がない。
高校生は楽しみながらやってるけど、大人は嫌々？
へそ祭りは伝統が大きくて、アレンジはできない。

去年に大賞を狙って意見があったが、へそ踊りは派手さがなくて暗いので、だしを明るくして傘から顔を出すくら
い新しい改革があったり、
ダメ元だけど踊りを揃えるためにポッコを使っても良いか？とも考えている。
今までライダーが増えた時期もあって、観光客の参加も増えたが、やはり踊りがグチャグチャで全体的にダラダラ
してしまうという課題もあった。

なのであえて伝統部門やアレンジ部門などを作れば、幅が広がるのでは？
大胆なアップデートが必要。

8.北の国から

ドラマの影響を伝説化したい。
小豆島の24の瞳の施設のように、常に北の国からの映画が流れてたり、

施設の充実を図り、伝説にする。

興味があるが見る機会を逃すので、そういった施設は良い。

資料館がなくなったのは残念だね。

倉本さんのミュージアムを作る予定があり、検討中。

北の国からのストーリーは皆の根っこの部分でもあるから大切。

テーマ:『富良野市のユニークポイント』を、見つける／磨く／新たに創り出す
 チーム:第2回ワークショップ



■ラウンド1

◎文化・教育

- ・演劇文化は富良野市の特徴として富良野塾のOBもいっぱいいるので伸ばすべきもの。
- ・富良野高校の演劇をやったサクセスストーリーも演劇にしたら良い。
- ・プロにシナリオや漫画をかいてもらう。それを実演すると観る人の観点も変わる。
- ・英語は大事。英会話に触れることが少ないからそういう場所を作らないと。
- ・保育所で来年から年長さんが英語に触れるプログラムが始まる。
- ・学校教育は昔から変わってなくて、自立した時に役に立つ教育をしてほしい。
- ・でも、今は失敗もよしとされている。

◎北の国から

- ・再放送始まる。
- ・「全国から黒板五郎ファンを集めて演劇工場でものまねイベントをやりたい。自分の好きなフレーズを一言言うみたいな」と、どこかの地域おこし協力隊の人が言っていた。今年は、純、今度は蛭バージョンみたいな。ファンは多いから出る人も見る人も来る。ニュースにもなる。これやった方がいいね。おもしろそう。
- ・イベントをきっかけに(ものまねとかも)、再燃のきっかけになるのでは。

◎観光・グローバル化

- ・農家側としては外国人のイメージが良くない。悪く思い込んでる。
- ・互いの文化を知らずして昔からの思い込みで。
- ・収穫体験、観光農園的なものがあったらと思う。自然塾でやっている環境教育も含めた農業体験があったらいいと思う。
- ・社会人の体験も増えている。
- ・自作サウナを作った人もいる。
- ・この会議自体も観光客に参加してもらっても面白いかも。研修っぽくなるけど、これに参加を目的に来てもらい、自分の意見が採用されたりしたらその後につながるかも。

- ・お母さんたちがフランクに話せる場所があったらいい。

◎へそ祭り

- ・もっと熱くなるものを。
- ・大胆なもの。へそ祭りでないものをやったらバッシング受けたけど、とにかく盛り上がりは出せた。
- ・何か一つ縛りを入れて、もっと奇祭にした方が良いのでは。もともと変なので。
- ・へそさえ出していれば、踊りは自由になるとおもしろい。
- ・自分が観光客だったら、1回見たらもういいかって今の形だとなってしまう。

◎特産物をふるさと納税返礼品に

- ・東山の直売野菜をセットにして返礼品にしたらい。でもダメだと言われた。
- ・農家の人の安定収入になる。
- ・旬の野菜、いいと思う。
- ・ちょっとひねったものがほしいよね。遊び心のある名前を野菜につけては。

◎コラボ?コミュニティ?

- ・なんでも「●●×△△」みたいな感じで考えるようにしている。「へそまる君×街中の発見」など。
- ・富良野にはいろんな資源がたくさんある。
- ・色々な才能を持つ人同士のコラボから生まれるものがありそう。
- ・ホテル×農家
- ・ハンズアップというのを富良野でもやっている。「これやりたい!」と手を挙げて、手伝ったり、一緒にやる人を募る。
- ・どこかの町では、白タクみたいなことを道内でやって、病院行けない人で公共交通機関がない人をサポートしている。
- ・お年寄りも本当に必要であればアプリも使うはず。教えてあげればいい。

◎光通信

- ・ADSLも終わってしまう。子供も何もできない、と。
- ・これが無いと移住できないという人もいる。
- ・東山や農村部では困っている。市長には訴えているが。
- ・クラウドファンディングとかでどうにかならないか。

■ラウンド2

共有の時間

「ここは、ユニークポイントを見つけたり磨いたり新しく作り出すのがテーマ」

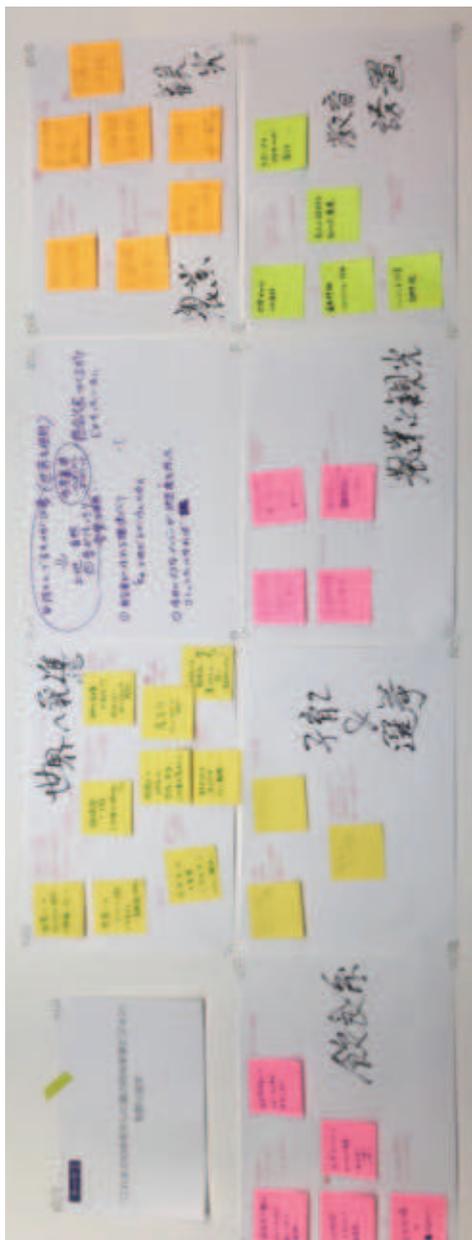
- ・ユニークな材料は富良野に散在してるけど、住んでいる自分たちは気づいていない。いっぱいある。無限の可能性。
- ・オムカレーで町おこしをしてきた。よい素材がいっぱいあるのに富良野の名物的なものが無かった。
- ・英語をしゃべる環境は富良野にはある。
- ・北の国からの存在はユニークポイント。関西に住んでいる人も知っている。
- ・北の国からをまず観て、若い世代が新しいかたちにしてみては。
- ・へそ祭りと演劇がユニークポイント。もっと変なお祭りにしたら良い。
- ・へそ祭りは1日目は伝統部門と、2日目は崩してもよい部門に分けても面白いかも。
- ・変化しながら継続する。
- ・歌舞伎でワンピースやってるんだから。変化をOKにしなきゃ。
- ・実行委員会側の問題だね。
- ・変わることは怖いんじゃないか。
- ・演劇工場があるのが珍しい。
- ・子供たちは演劇工場での体験に感動している。
- ・一か月くらい演劇祭やろう。海外から呼んで国際演劇祭も。

他グループでの話合いに参加して・・・

- ・人口減少の問題。減らすのを防がなくては。交流人口を増やすのも大事では。
- 例えば、富良野へ来て鬱の人に元気になってもらう。マラソン大会やって滞在してもらう。年配の方は自分のできることをやって、この町でやりがいや生きがいを見つけていきたいと言っていた。
- ・今後こうあって欲しい等。こういう場を今後も設けて欲しい。役所の人とコミュニケーションをとる場を増やしてもらって情報を共有したい。
- ・日本語学校を作りたい。特別進学校を作りたい。
- ・人口減少の問題。一人一人が意識して欲しい。若い人が流出してしまう。大学生が成人式で集まる場で、戻ってくるには何が必要か聞いたら良いのでは、アンケートはどうか。ワクワクすることがあったら出ていった人も戻ってくるのでは。
- ・役者になる旅行プランがあってもオモシロイ。

テーマ:『これまでの枠を外した魅力的な未来ビジョン』を創り出す

チーム:第1回ワークショップ/チームB-1



田舎だからおしゃれじゃなくて良い

そこに観光だけでなく目的をもって町に住んでほしい。

もともとは小さなまちだったけど

ハーバード大学の富良野分校みたいなものも会っても良いかもね。

そういう技術を生かして、最先端の農業もやっているというまちになれば。日本をリードできれば良いよね。

プロのスポーツチームを富良野に合宿で呼んでみたらどうなんだろう。

私は建築屋だけど、これからの時代は作るだけでなくソフト的な部分を強化していく必要がありますよね。

建物ではなく、仕組みを作るのが大事だね。

飲食店なので飲食店の増加に伴う人材不足。

富良野の町はどこなんだろう、マップはあるけど町としてまとまってないイメージがある。

点在しているお店がまとまってない。

人が集まりにくい。

24時間やってますよというお店が会っても良いよね。山岡屋やマクドナルドもやめたよね。

遊び場の充実も必要。(大人の)公園とかは充実してるけど、大人の遊び場がない。

ラウンドワンみたいな総合的なものがあるのもいいよね。

大手スーパーの営業も9時で終わることが多いので、、、。

富良野市民にはスキーリフト券半額にするのはどうかね？

行きたくても高くていけない。

もう少し安くすればいろいろな方と行ける。

働く人間が楽しそうにみえないと、富良野の良さを出していけない

全体的に行くと、世界一のエコの街にしたい。

ゴミの問題とかも観光客が気軽に捨てられるようなものが必要。

海外の人にもわかるような、ゴミ箱が必要ですね。

富良野がゴミに対して厳しいということを感じてもらおう。

海外の方に富良野の特性を理解してもらうことが大事。
看板とかじゃなくて、駅とかにタッチパネルで飲食情報とかゴミの場所とかがあればかなりいいよね。
地域の情報をみることが大事。フォトスポットとか。

循環型の町。住んでいる人がお金がかからないような。
家帰ったらだれかわからないけど野菜があるみたいなもちつ持たれつ、物々交換とかがあるような優しい街になれば良いと思います。

こどもが切れなくなった服とかを回していけるような仕組みが必要かもね。
お下がり。

社会の雰囲気かそうならば良いかな。
インターネット5G先進地域みたいな感じでどうなんだろう。
インターネットで色々できると思うんです。

外国人に情報を提供していくこと、また色んな組合とか団体とかをまとめる組織をつくられば連携できれば良い。
縦割りでなく、横断的にできる組織を作ることが大事です。

スナックを最近はじめたんですが、残さなければならぬと思って、継いだんです。昔ながらのスナック。
裏通りが怖いので屋台をすとか、空き家とかを利用してチャレンジショップとかにして、
飲み屋街を明るくしていきたい。

育児にお金がかからない。
日本一の政策をうてばPRになる。
ただしほかは削らなければならない。どこかに偏った政策を打たなければ、どこにもないオンリーワンにはなれない。

子どもが遊ぶスペースがないといわれている、なぜ立たないのか、若い人が選挙に行かないことが大きい。
自分が政治家になるとすれば、投票しようとするお年寄りに寄った政策になってしまう。

保育とか保育士の給料があがらない、待機児童が減らない、国が動かないから。

若い人が選挙に行きやすい体質を。
ネットでいち早くやってほしい。国政だと40パーセント。かなり投票率低い。
政治家、官僚がまんべんなくやる政策になると個人的には思う。

美味しいものには目がない。美食の街としてイメージを作る。
富良野野菜を宇宙食に使ってもらおうとか。

生産年齢人口が少なくなるのは大変になっていく。
外国人と共生できるように。

観光客も富良野で働いてもらう。農業なり、足りない部分を補っていくことができれば良いなど。

みなさんの意見で気になったものがあれば話してほしいです。

やはり抜きん出るものがないと他の街との差別化ができないよね。
なんですかね？抜きん出るもの。

やはり土地を生かしたものですよ～。
富良野に大学とかがあれば良いなと思います。
富良野市で働いてもらって、安定するまで保障をしてあげる。
住むところのフォローってできるんじゃないのかな。

富良野って結構ウェルカムなイメージはある。
富良野出身じゃない人いますか？
移住者はウェルカムしてくれますよ。

ココに来る時点でみんなすごい人達だよな。

こういう会に出ることじたいがものすごい面白いこと。
こういう人たちで組織として動ければ最高ですよな。

結局尻窄みになっちゃうんだけど、目的がなくて。

富良野の総合計画に反映されていく可能性はあるよね。

インターナショナルに動いている人はいるけど、組織化していないからスピーディーに動けない。
色んな現実につつかることが多い。

こういうことって、年取ると考えられなくなる。

経験値がストップしてしまう。
このみんなの能力を生かさないともったいない。

せっかく総合計画の目的で集めたこのメンバーでなにかしようよ！という動きになっていかないともったいない。

野菜は美味しいとおもうけど、富良野にきた移住者のほうが美味しいという。地元の人あたりまえに食べていたから。

四季がある。

富良野が一番雪質が良い。
四季がはっきりしているのも富良野。

一ヶ月ごとに景色はかわるので面白い。

ちゃんとしたスキー場という山があって、雪がずっとサラサラというのはすごい。
街の直ぐ側にあるスキー場というのが素敵。

観光に来た人も地元の人無にしているかのほうが興味あるんじゃないか。

外人も歩くことを惜しまず街に出てくるよね。
皆さん世界を意識している。

何か抜きん出るところを。

北の峰旅館組合がニセコに視察にいっている。
ニセコはグルテンフリーとか海外の方に合わせてメニューを出したりしている。

世界基準のオーガニックとかも富良野でやってみれば。
ビーガンとか色々あるよね。

テーマ:『これまでの枠を外した魅力的な未来ビジョン』を創り出す

チーム:第1回ワークショップ/チームB-2



リタイア人口呼び込んでみたらどうですか。

たくさん都市部でももう働かない人出てくると思うので、そういう人たちがやってきてもう少し交通とか施設整えば、きれいですずいじやないですかね。

それに伴って、こっちにやってきてくれる若者、目を向けてくれる若者、関係人口増えるのかなーなんて思います。

保養施設とか研修施設みたいなやつを誘致。青少年交流施設みたいな感じで。ああいう風にしてこっちにきて休むっていう期間を観光旅行だけでなく企業全体としてのイベントとしても盛り込んでくれたらもう少し機会が増えるのかなと思います。

ごみの分別すごいじゃないですか。そこから整備環境のバイオニア的存在感として。全体的に何が強いと言ったら景色だけなんで景色が良い理由として、そんなところまで実は街全体で対応できるんだよというのをアピールできたらいい。

個人的な意見なんですけど、おいしい水、いい景色、たくさんのカフェってということで、結構コーヒー好きなんですけど、コーヒーの生地にできたら面白いかなーなんて思います。たくさん新しい喫茶店できてますし、そういう人たくさんいると思うので、そういうのもひとつの新しい観光地にできたらなと。

専門学校、大学がほしい。高校まで頑張って富良野で生活してくれたけどその後って就職するか、看護専門学校行くかしかないじゃないですか富良野って。だからみなさん旭川、札幌なんなら本州出ていかれる。すると生産年齢人口が減っていくのは当然の話だと思うので、高校卒業後のぼくらが生活するための場所を結構みんなほしがってます。高校生とかみんなそう言ってます。

水、空気、土地、いろいろあるので工場とかテストコースなんかそういうを作ってみたら企業誘致できるんじゃないかなと思います。せっきある土地なので、そういった形で農業だけじゃない、離農していくので、増えていくと思うので、そういうなんか社会に還元できるような形でぼくらが手助けできたらなと思います。

富良野に住んでも雇用があまりないものですから、働く場所がないので、それが多いですね。イベントがあまりないし、イベントやってくれないもんですから、富良野に住んでもあまりいいところがないって思っちゃうんですね。

せっき観光都市と言われている富良野に住んでいるんですけど、外国人との言葉の交流が難しい方が多いですね。富良野として特色のある英語の教育、子供からお年寄りまで簡単な英語で皆さん話せるように英語の教育が充実したらなと思います。

農業者たちとの交流として、今日はこの材料でみなさまアイデアを工夫をもってこれをどう料理していくとか、農業者と私達消費者とういか一般の人、、テレビでよくやってますよね、芸能人がどこかへ行って色んな料理を作って、五目ご飯作ってとか、ああいう感じで簡単なそういう農業を生かしていくような野菜を生かしていくような

イベントがあればと思います。

市に対してですけど、スポーツ施設を充実させてほしい。今の体育館はすごく老朽化してまして騙し騙し使ってるような感じがありますよね。ラグビー熱で日本も湧いてますが、富良野のラグビー場は大雨が降るとすぐ水につかってしまうようなラグビー場なんです。そんなラグビー場でラグビーが強くなるなんて思えません。強くなてほしいんですけど、やっぱりこれだけの機会があってラグビーの皆さんの注目の的となっていますので、こういう機会ができればラグビー場を整備してほしいと思います。

自然を豊富にもっと街の中に取り入れてほしい。新市庁舎もそうですが、自然が生かされていなような設計になっている。木を植えれば良いという問題じゃありません。そういうところをもう少し考えてほしいです。

去年引っ越してきたばかりでまだまだ浅いですが、富良野って今まで見たドラマの中で、北の国からとか風のガーデンとか本当に日本の故郷、日本人だけじゃなくて海外の人も心の故郷という存在として懂れています。その中で私日本の知り合いの中で、神戸に住んでいる人が月に1回くらい来てくださって、第二の故郷のようにきてます。それって関係人口ということで、そういう人口を増やしたらだんだん移住につながっていく。残された人は富良野が好きで富良野に関心をもっている方々だと思います。最初は移住じゃなくて関係人口からつくりだして、まただんだん移住につながっていったらいいと思います。本当に富良野を知ろう、未来を楽しもうという人たちだと思います。

最初ディスカッションした中で〇〇さんは元々倶知安に住んで、なんでもうすみたくないかと言ったら外国になっています。まさに富良野も第二のニセコと言われてます。絶対そうなってほしくない。これから富良野はスキー場も素晴らしいし、将来外国人と地元の人に関係をよく、そういう環境をつくっていけたらということを考えなければいけないと思います。

障害のある方が活躍できる場。知的とかある方たちが就労する場をサポートさせてもらってるんですけど、なかなか企業の中に入ってやり方さえきちんとお伝えできればたくさん活躍、、、

全然わからないんですけど、富良野市役所あたりは障害者の方を民間で何%雇用するとかっていうのはあるんですかね。

企業で何人以上で何%雇用するっていうのはあるんですけどなかなか、、、

市役所はないんですか。遅れてますね。

障害者雇用枠ありますよね。一応あると思います。市役所の人間じゃないので詳しくないですけど。

アカデミー事業っていうのをやっていて、これは今野球を活用して全国から若者を集めてプロ野球選手を育てるっていうのを皮切りに3年位前からやってるんですけど、これはニーズとニーズのマッチングという仕組みでやってみて、地域疲弊している部分で若者入れて若者の人材不足を解消するということと、それと野球したいって

いう若者のその熱意を環境づくって、じゃあやりましようかっていうのをやってます。これをやってくにあたってぼくの発想としては、富良野っていう風に考えるのではなくて、いいじゃんですみなさん生きてるんだからっていう発想で、富良野だけよくしようって考えただけではうまくいかない僕は思っているの、どちらかというとお隣の街のいいところうちのいいところっていうのをうまくニーズを合わせてやるっていうことで新しい価値の創出っていうところにもっていききたい。

あとは一人ひとり主役になるような方向に持っていきたい。どちらかというスポーツの席もそうなんです、できるものが活躍する場を与えられるみたいなのが強くてですね。でも芽をもった若者はたくさんいるのでそういった人たちをひとつのスポットライトがあたるような形にして、それが市民の皆さんも一人ひとりが思いを持ってる人たちがたくさんいると思うので、これを基盤にして他にもすすめていこうと準備を進めています。そういう人、、観光、自然というのがこの街かもしれないけど、違分野おつくっていききたいなっていうのがあります。

これまでの枠を外したってところがあるわけで枠を外しましょう。

夢を話せる街。

今回夢を話したかった。課題は正直ある。あるけれどもそればかりに目を向けてないでもっとぼくらこうなりたいたいよなっていう発展をみつけないと。課題は確かに解決しなきゃいけないですけどそればかり見てたらみんな心が疲れちゃうかなって。疲れるんじやなくてもっと夢語ろうよ。という。それを言うとあんた何考えてるのっていう空気が流れちゃうけれども、そういうことを気にせず夢を語って思いっきりぶっ飛んだものを言っちゃってやっていこうとあえてぶっこんだこと書きました。

その1、日本で最もカッコいい田舎にしましょう。

抽象的なことしか言いません。最終的にこうなりたいうことであって、これに対して具体的にどうするっていうのは考えていません。

田舎ってダサイよねって思ってる人っているから、でもそんなことばかり思ってると一曲周知が続いちゃうんですよ。そんな時何がだめかという東京で大地震が起きて東京ひっくり返たら日本が潰れると思う。田舎が輝かないと日本が崩壊すると思った。ちょっとネガティブな考えですけどね。それだったらやはり田舎がいいとこって富良野が最先端にいけるような街になればいいんじゃないかということで。それに伴い、渋谷よりも富良野のほうが実はいけてると思わせたい。

富良野に文化の発展が田舎の中でもあるし、ラグビーもかなり富良野高校強いですし、ラグビー場も発展すれば富良野ももっと盛り上がるし、それだけでなく富良野って演劇工場があって倉本先生が住んでらっしゃって、倉本先生も正直結構高齢になっていると思うんでその先もつくんなきゃいけないっていう課題もあるんですけど、色々チャンスはあると思うんですよ。日本の文化芸術の拠点になればいい。世界から見て。

僕実は富良野でランニングをするイベントとかを企画してるんですけど、東京オリンピックのマラソンが札幌でやる話ありますよね。あれいつもマラソンの世界的な大会みてるとうとうみたって都市の中を走ってる様子しか見たことない。だからフルマラソンの国際大会を田舎でやったらどうかかって。

人口が都市に、札幌東京に集中して富良野の人口が下がって一見ネガティブにとらえられがちですけど、地方の価

値ってというのはそうなればそうなるほど上がるかなって思っていて。例えば地方でしかできない体験というか、ニーズというか価値はあるかなと思ってます。他の街じゃなくて景色がいい街にいきたいっていうのじゃなくて、富良野に行きたいという意味のある街にしていく必要があるのかなって思ってます。

今までの話を聞いて、他の都市との差別化も大事なんですけど、同時に関係人口を増やすという意見の中で姉妹都市を組んで、そこから来ていただく。その街にギブを与えるというか、道内外を問わず結果的にその人達がこちに還元してくれるというか。

人口が減っていくと仕事という面で減ってくることもあるかなと思うんですけど。今ある仕事だけみると数として減っていくでしょうけど、今ない仕事が今後新たに出てくる可能性もあると思っているので、今ない仕事でみんなが好きな仕事を仕事にしている街富良野という街いいしたい。シーズンを通して賑わっている街ということでマルシェができる前の夏と冬の観光客の比率は夏6：冬1。マルシェができてからは3：1になったっていう記事を去年見て、10月11月は閑散としているという飲食の方から聞いて、理想としては閑散なく年間通して盛り上がっていくようにしたい。

へそやワインやスキーや北の国からという枠ではないキーワードをこの街に根付かせたい。
まず食の街。

これは農業と観光が融合することと年間を通して食べるということはみんなの観点ですし、海外のお客さんも含めて来ていただくときに横串できるキーワードにこれがあたらなと。そのためには街のへそ歓楽街みたいなどころに優遇して飲食店が安く出店できるようにする仕組みをつくらだとか、いまきているお客さんを喜ばせるためにワインがあるわけですから、ハッピーヤーワインみたいなもっと飲める環境を作っていくところからスタートできたらいいなということを具体的に人を育てるためには料理学校を誘致するような動きもあるかもしれないなと。

2番めが観光で来るとアンパンマンショップしかない事実があって、花とかっていうのは子供は飽きちゃいますよねっていうのがあって。新たな観光のキーワードをつくらしたら子育て世代に優しい街をつくっていかなければいけない。遊び場が不足している。特に室内。例えば清水山果汁工場あたりの景観の美しいところに上川関内で遊び場が不足しているので大きなものを作っていくということ。子育て世代に優しいってことなんですけど、これからITとかをうまく活用しなければいけないっていうのがあるんですが、ぼくらの生活で一番面倒くさいことって除雪だったりするんですけど、自動除雪機とかってあるといいなって。そういった開発とか農機具メーカーとかとタイアップして富良野の生活が少しでも楽になる、応援する仕組みをつくっていけたらな。

みなさん健康でなきゃいけない。障害スポーツを応援する街ランニングやトレール、サイクリングコース。みんな自分の健康を自分で管理できるようにコース整備を街なかや森の中に整備するのもひとつでしょうし、街なかとスキー場を結ぶ街の中からスキー場にゴンドラでいける自動運転じゃないですけど、5年後には自動運転化してるかもしれない、そういったスキー場と街なかを結ぶようなそういったことをどうしていくかで、新しい未来的な活用してる街、というのをやっていったら面白いかなと。

富良野でセグウェイとかのれたら面白そう。
道のガタガタさえなくなれば。

国に働きかけて特区みたいな感じで補助でないかな。
それかセグウェイ専用コースを作るとか。
ブドウ果汁なくなるとしますよ。うまく利用できないですかね。
そんな感じに見えます？結構車入ってますよ。
ブドウ果汁作らない方向で、
今タルで熟成させてるので数年後赤は復活します。工場としては残さないといけないので残るかなって思ってます。
タルでお風呂とか。ワインの絞りカスでお風呂入ったらどうですかね。
殺菌作用あるからね。葡萄の葉っぱも。
それやったら観光になるんじゃないですかね。

実際に出た中でこれいいよねとか将来的にできたらいいよねっていうのがあればそれに焦点をおいて話していきたいです。

「夢を話せる街」それをトップにあげてそれから広がっていくような感じが良いんじゃないですかね。全部夢じゃないですか。叶いそうなものもありますけど、抽象的だから捉え方によってはいろんな捉え方できるんじゃないかなと。揚げ足取るのはなんぼでもできる。ああしてほしい、っていうのを話せるのが一番。市民の幸せを願いながら。

こうしてほしいのか、こうなりたいのか。
こうなってほしい。

期待という字は待つってことなので、そうでなくて自分で何か動こうぜみたい。人に任せるのではなくて。ここの団体がこうしてくれたらいいのになっていうのを逆にぼくらがやっちゃうとか。

市庁舎のことも思うんですけど、60何億円も人口が減っていく中で果たして借金を返していけるのか。若い人たちへのしかかってくるわけですよね。私達は何年後かに死んでるかもしれないけど、これから生まれる子どもたちにもかかってくるわけですよね。そういうことを考えるとみんなで考えなきゃいけない。

まとめると、夢を話せる街にすることが将来枠を超えた未来ビジョンを作るために夢を話せなきゃだめでしょうということですかね。
っていうことは、今夢を話せていないってことですよ。何がそうさせてるんですかね。

内面と外面とあると思います。意外とあるのは内面なのかな。周りの人に言われたらどうしようっていうビビリみたいな。

田舎って交流というか人見知りのなところありますよねそういうところをなくしていかなきゃだめ。

本州から、〇〇が拓かれてすぐぼくら入ったんですよ。その時すごい敵視されたらしくて。田舎の人達って外から来た人たちに対してすごい厳しい目を向けるらしい。それはぼくらが夢を語りづらいついていうところにもつながってくる。

外からきたよそもんが何ゆめ語ってんだっていうのがある。

そんな人ばかりではありません！

そういう生きづらさはあったっていうのは聞きました

今はだいぶ順調に

他から来た人との壁を、少しでもやわらげるためにできたのがマルシェでもある

ただ観光客向けというか僕らが入ることあるかっていったら実家帰るとき

お土産を買う場所みたいなのはあって

そういったスペースにはなっていないと自分は思ってる

イベントは定期的に開かれてはいる

夢を語らせる土台は外の人 地元の人よりいい環境を作ることが大事ということ日本だけじゃなくて外国人もきて
いろんな価値観があるとすごくおもしろそう

外からくるとお互いに抵抗感がある

ただ私たちは外国の方には話しません

変な遠慮が同じ目標を実現させるために

例えば農園体験とか

毎年来てミニトマトとかメロンとか食べて

第二の故郷になったらいい関係を作れると思う

もしかしたら偏見になっちゃうかもしれないけど障害者たちにとっても素直に発信できる場所として夢を語るま
ちっていうのはいいのかなって

自分がしたことやりたいことめざすものっていうのを発信できない障害者が多いと思うのでそういうことを語る
場。経済力とかは弱いけど発信できる場、共有できる場、富良野がそういう町になれたらいいなと思う

富良野だけでも特色のある英語教育をしてほしい

そして外国人も日本が勉強してほしい

富良野に来て日本が学校廃校したところを利用して英語教育をやって英語できる人が集まっちゃってそしたら外

国人が日本に来てるけど日本語を全くしゃべらなくなってもよくなっても外国化したら倶知安みたいになる

僕らが歩みよるために英語をやるだと僕らが気づけば外国チックになってるっていう状態にはしたくない

日本語学校いいですね

東山だけじゃ足りない

山部いいですね

自然の中で

介護の人材も足りなくなってるしいろんなところで海外の方の力を借りなきゃならない場面ができてくると思う

- ・企業・農家さんにつながることで雇用につなげる
- ・住んだら安心できる街にする。企業などとも連携していく。

●働く

- ・雇用 高齢になっても働く場がほしい。そのために健康な体が必要。年金では食べていけない。
- ・自分も大学に行くときに富良野にないので出た。戻りたくても大学で学んだことを活かせる職業がない。
- ・富良野で求人になる職種が決まっている。
- ・どこも人手が足りないが働き手の需要と違う。
- ・富良野が必要としている職業について学べる学校があっという。

●その他

- ・空き家有効利用を始めるときの資金の支援が必要。

- ・富良野にスポーツチームを呼ぶ。
- ・マラソン大会もへそマラソンよりもっと距離の長いレース(フル・100km)があってもいい。

- ・芦別市は全日本バレーボールを呼んでいる。大きな体育館。
- ・アーティストを呼べるようなホールがあれば富良野に来る

- ・富良野駅と教会病院を空中廊下でつなぐ。そこに旭川駅前イオンのように商業施設を作り、商店街のお店が入って集客を図る。またいろんな世代が集まる場所。子供たちの集まる場所。買い物1箇所で済むように。医療も1箇所で済む。

- ・富良野駅のエレベーターは必要
- ・昔の駅前の昔くさい雰囲気良かったという人もいる。

- ・ハコモノではなく住民が街を誇れるように

- ・平成7年の国の事業で光ケーブルを敷設する話があり、コールセンターを設置する話があった。そこから教育施設などを作って連携する構想があった。それが西興部にってしまった。
- ・世界一シニアに優しい街でアピールしていく
- ・夢を話せる街。このワークショップのような場所はとてもいい。

※録音時間約70分。以降のワークショップは録音なし。

テーマ:『これまでの施策に不足している・今後はどうあって欲しい』を考える

チーム:第1回ワークショップ/チームC-1



1.学校教育

部活〜単独チームが出来ない、他学校と共同チーム
30人学級の実現
教員不足
教室が狭い
フレックスタイムの導入
図書サービスの拡充
生徒が少ない、学校の部活が習い事に限度がある
部活動の人数が少ない
1クラスの人数が少ない

2.子育て・医療・介護

医療費無償化が他の自治体と比べて良くない。
公園の遊具が6〜12歳向けばかりで遊べない
子どもが遊べるような場所ない

英語使う環境に身を置く環境が無い
医療環境の整備が遅れている
保険、医療福祉の連携がスムーズでない
人材で不足
介護のインターシップなり研修制度がない

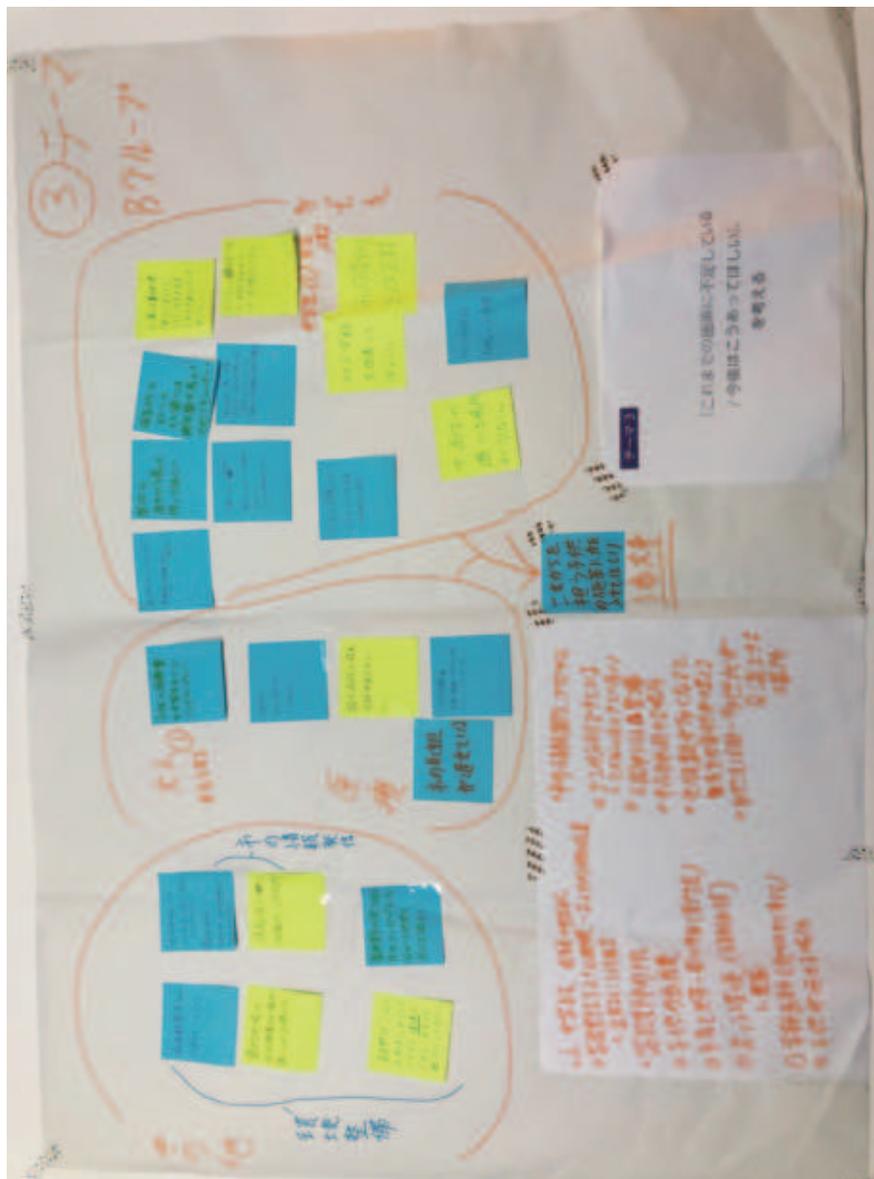
3.その他

除排雪が追いつかない。
枝線の除雪があまり旭川に比べると良くない。
除雪の範囲を広げる必要がある。

住宅の低価格帯整備
平均で1LDK 5万円
新築8万円
空き家の活用
家賃の補助
ITの充実
ネット環境の整備

テーマ:『これまでの施策に不足している・今後はどうあって欲しい』を考える

チーム:第1回ワークショップ/チームC-2



1.子供

- 遊び場が少ない
- 保育所のオムツお持ち帰りは衛生面を考えてやめてもらいたい
- 公園のトイレきたない
- 時計がないので時間がわからない
- 子育て世代に優しい施策はあるけど、子どもが実際に遊ぶ場所が少ない気がする。
- 公園は修理されているけど、トイレはそのままだからきれいにしてほしい
- 子供の遊び場や自然を生かした施設を増やしてほしい
- 子供にかかるお金への助成の拡大
- 40人学級を改善してほしい
- 市の条例を改正する
- 中高生の遊べる場所が少ない
- 小中学校存続への施策がない

これからを担う子供の施策に力を入れてほしい[一番大事]

2.大人

- 子供の医療費を中学生までにしてもらいたい
- 協会病院の医者が少なく、いつも混んでいる
- 協会病院の将来方針が見えない
- 市の取り組みが遅れている
- 2025年問題 医療機関の充実が必要。

3.環境整備

- 新規就農者が来やすいような施策
- 農村地域の光回線普及が極めて遅い
- 富良野はごみの分別をしっかりとっているから環境のためにこれからも続けてほしい

4.その他

- 情報開示に消極的

- 富良野の売出し方のコンセプトをわかりやすくしてほしい
- 富良野市のPR
- 子供の医療費
- 子育て世帯の買い物ネット環境
- 常勤医師が少ない
- 子供の遊べる場所
- 市の情報開示プロセス
- ゴミの分別はできている
- 公園のトイレ整備
- 中高生の遊べる場所
- 生徒数が多くなると先生の負担が増える
- 自然を活用、多世代が交流できる場所

「子供らは遊ぶことに対して不満はないのかな。」「はい」「中高生の遊び場がない」

○協会病院の医師が少ない

「できた時は22人いたのに今は17.8人しかいない。10年前ぐらい。内科医の常勤はいない。出張で来る。産婦人科は1人しかいない。もう1人は東京から。東京から呼んでるからその費用も多額。病院の問題は深刻。」

「今は医者がどこも少ない。札幌や旭川など都会に行ってしまう。地方は厳しい。個人でやっているいんやく先生が引退したら、個人の小児科がなくなってしまう。。」

「子供の未来のためっていつてるのに、まったく逆になってしまう。小児科がない、は困る」

「産婦人科の先生も高齢なので不安。もしかしたら富良野管内で子供が産めないとなったら旭川に行かなければならない。かなり重要だしけっこう緊急。」「早い段階でどうにかしないと。そこまでは思ってた。協会病院はいつも混んでいる印象はあるけど、医者がいないとは。。」「近い将来心配」「みんな心配している。たしかに医師がいないとこれから住もうと考えてる人は住まないよね」

「医療が充実している地域にいつちゃう可能性がある、ということですね」「それを意外と知らない人も多い。病院は大丈夫だろうなと思っている人も多い」

「出張医がくるから毎回変わるからやはり患者も不安」

○IT

「心配でたまらん。2023年にADSLが廃止されるので、そこで光がきてないとナシってことになる。」「ネット環境がない」

「光に代替えてほしいのにまだなってない。地区全体に網羅されていない。一番心配なのが、これから農機具が全部ロボット化されていくから、絶対回線が必要になってくる。GPSからメンテナンスのインストールまで。それができないと、今進んでるロボット化の計画ができなくなる可能性がある。あと8年ぐらいじゃないかな。それまでに網羅されてなかったら共倒れになってしまう。」

「お金かかる事情もわかるし、利用者としてもすごい少ない部分なんだなってわかるけど、展開の時がこわい。農機具が動かないとか」

「でかいWi-Fiがほしい(笑)」

「あと、電子決済ができないとまずい。キャッシュレスの時代。ネットの時代なのにこうだと漠然とした不安しかない」

「あと50代以上のIT教育が心配」

「その世代も漠然とは心配している」

○英語

「将来◎になりたくて、今△で働いてて外人の方と話してて、気付いたことは、観光客が来ても触れ合うことがなくて色んな国のことがわからない。私だけでもだけど、世界に目を向けれてなくて、出ていくにしても都会といえど札幌とか。海外にももっともっと視野に入れてもいいのではないかなと」

「バイトをしたことによって海外に興味がわいたんだね？」

「もっと他の国を知ったり、他国の違いを知ることも大事だなと」

■ラウンド2

「ハイライトとしてまず最初に出たのは子供の遊び場が少ない。これ一位になってたんで聞いたら、小さい頃は毎日公園で遊んでたので気づかなかったけど、中学高校とおしゃべりするのが楽しくなった時に、タマリバとかふらっととかで遊ぶことがあるけど、周りの目もきになるし、いづらいつて。友達の家みたいな空間があればいいのになって。カフェとかも興味あるけど女の子だったら、お小遣いの部分でやりくりできないっていうのがあって、そういったところから、結果冬の遊び場、冬のコミュニティーの場があればいいんじゃないのかな、って話が最初のテーマ」

「次はIT分野のところなんですけれども、三年後ADSLがなくなるってことで

農村地域、麓郷に住まれている方とか、なくなったらネット回線がなくなってしまう

けれども農業地域じゃないですか？だから農業が機械化されている中で回線がなくなるっていうのは矛盾じゃないか。というところでこういう話になっている。

50代の不安一位。これは僕が書いたんですけど、なんでなのかなって思ったら多分だけねとネット社会になるって、テレビとかメディアで言われていることに対しての漠然な不安があるんじゃないかなって話ができました」

「緊急の協会病院の医者が少ないって話なんですけど、内情聞いたら本当に少なくって

小児科がいんやくさんしかいないって。いんやくさん結構高齢なので、それがなくなったら、今市で子育て支援やってるのに、小児科がないって結構矛盾ですよ。だからそう言った矛盾したところを会話の中でできて、協会病院もこうやって産婦人科が一人が高齢で一人が東京からわざわざ来てもらって、その分の交通費とかも全部自分で負担して行政で負担してるっていうので。だから高齢の方がいなくなったら富良野で子供が産めない。こどもが産めない地域で人が活性化していくのかってところで、これを緊急ってことで会話させてもらいました」

「あと英会話教育の充実ってことなんですけど、観光客で英語すごい触れ合う機会が多い割には外国人が怖い。喋れないから怖い。だから英会話教室通ったり、自分の英語力のアップってところもあるけれども、まずそう言った場を提供していただければ。例えば外国人の労働者や留学生とか多分不安だと思うんで、そう人たちが集まって、そういう人たちとか同年代、中高生とかコミュニティーの場でいれば、日本語とか英語とか冗談言ったり、

絵で描いてなんとかしたり、心は通じるよねってところでそういうところがあればいいと思う」

「そういう意味で空き家を使ったら面白いのではないですか。規模感としても。そういうのも行政なりでやってみればと。」

「明るいというよりもリアルな話。いろんな年代の人が正直に話してもらえればおもしろかった」

「みなさんどうですか？」

「こういう場、市民できたら市役所の方とざっくばらんに、話せる機会をもっともっと作って欲しい。今後のことや過去の検証だったり。市長とかがちがちのところではなく、ざっくばらんに飲んだり食べたりしながら富良野のことを語れる場を。もっとあった方がお互い意思の疎通、コミュニケーションがもっとスムーズになる。そういう場が不足しているかなと。今回いいと思う。でも今回はこのためだけにやっているから、毎年何回か定期的に」

「住民の声をどこであげればいいのかって話もよくききますね。だからと言って議会報告、議会にいけるかといった

ら子供育てながらその場に行くって言う事は難しいし。議会傍聴は難しい。行ける人の方が少ない。働いている年代だと行ける人が少ないし、市がこういう風に動いているということも議会報告会とか地域懇談会みたいなものがあるけど、その場に行けない人の方が多い。たくさん議員さんがいて、こちらに参加者の椅子がいっぱいあって、言いづらい雰囲気がある」

「挙手制のスタイルだと自分の意見を言いづらいということですね。肩書きとかフラットで。まずスーツなし、いいですね。固くないように」

「市長とも話したけど、やっぱりほんとは意見出して欲しいけど、なかなか出せない。だから実際こういう環境は結構みんな出せるから続けた方がいいと思う。その中でももう少し入ったところで、市の役員さんとかすぐ動ける人が、ここだけの話になっちゃうから

エリアとかの役員さんとか交えながら、こうしてざっくり話せるような、そういう話あったなって、意見交換するのがいい」

「いいですよね」
「ワークショップがいてことですね」
「ワークショップ形式が、意見交換というか」

「あと多分、今回こうアイデアをこう言うじゃないですか。できたら市役所の情報もこう前もって教えて欲しいですよ。こういうの考えてますとかね」

「いきなり来るから、なんかその前に共有させてもらいたい」
「前情報、向こうも教えて欲しい」

「新庁舎のやつも昔からあるんだけど、やっぱりよくみんな言うんだけど、出来上がってから。」「過程が問題だから」「何も見えてこない」

「一応こうちょいちょい出してはいるんだよね 新聞だったり。だけどそこまでみんな思っていないから、だから結局もう建ちますってなった時に、蓋開けてびっくり」

「案が固まってから公表されて、いやそれ反対だよって言うても、いやもう決まってるからってなっちゃう」
「今まで皆さんに尋ねて、こういう分出してますよ、と。」

「知らない」
「ストレスが溜まる」

「どうしてその時なんでも言ってくれなかったんですかって。だからその、意見交換ってでもこんなもんなのか。自分も新庁舎のこと気になったので行ったけど、でもこれって言うても、と。でもこれ言えるイミグないからってさ。手挙げれない よっぱぼ意見持ってる人じゃないと」

「そうですね」
「だから環境づくりですよ」

「なかなか行けないし、行っても意見できないと思う」
「なんかそう言う空気ですよ」

「そう バッサリ切られるしね」
「切るんですか？」

「切っちゃダメだ。」「ほんとこの形式を残した方がいいと思う」「この形式を続けて行って欲しい」

「100人のやつから、今回のちょっと少人数って言うこういう二段階の規模って
いろんな世代の話が聞けるから。いろんな人が混ざってるのがいい」

「高齢の方って言うても60代ぐらいじゃないですか今日来てるのは

70、80代の人でも100人の時には参加されてた きっと世代によって、抱えてる問題は違うと思うので」
「実際この前感じたのは、やっぱりうちらみたいに観光協会だったりいろんな会議で話すんですよ。だけどやっぱりだいたい同じメンバーでだいたい意見が同じ。

出きってるんですよ だいたい」「わかります」
「世代交代が欲しいですね」

「だからもうなんかね この前出た時もそうだし、今回もそうだけど、意見が斬新なんですよ。斬新だし本当に今必要なのはそこなんだっていうのがすごくわかるから だからやっぱりこういう環境のものがいいっていうの

と、やはり他の会議とかでも へそ祭りとかの会議でも、やっぱりみなさんオブザープみたいな形で、何人か来てもらってっていうのがやっぱり良いのかなって。こういうメンバーの中からね」

「なるほどですね 今までの既存の委員会に対して、こういったメンバーの人たちが入って、なんかこう斬新な人たちがこうまわって。なんか3人位で行ってワークショップの方から来て、見に来てます。次の会議の時にはなんだろう、参加者、参加しているお客さんとかに何人かチョイスしてもらって そしたらそっちの方が話しやすいかもしれないから。ちょっと二、三人選んでやっぱりそうやっていかないと」 「そうですね」

「本当にこれ大事だと思う」

「あとちょっと自分たちのテーマでもう一つ。新規の就農とか働き方に関してはどうですか?。」
「そうですね。」

「あ、じゃあ学校のことをちょっと途中で終わってる。聞きたかったことがあるんですけど、40人学級の改善ってなんかテーマで出てたんですけど、40人学級ってんあんですかね。

国の推進ですか?」
「国の決まりで41人になったらクラスを分ける。40人までは一学級に収めることみたいな」「あ、そうなんですよ」

「その人数によって40人って結構多いのでもあもうちょっと少ないような、その学校の決まりになったら良いのって言うことをよく言ってるけど」

「なら多すぎる。最大ってことですね」
「条例で変えられるっていう風に前に聞いたことがある」

「えーあーそうなんだ」
「基本的にはまあ国の教育なんか法とかそういうのが決まっちゃってるので

ただ富良野市で何かって言うとなんか分けてもいいから 分けられない」
「なるほど」

「だから、その学級数によってその学校にいる教員の数が決まってるので、なので分けたとしても、そこを担当する先生がいなかったら意味がない」「あーなるほど」

「その教員不足っていうのは、人気の地域があってそこに集中して?」「いや違います 今の教員不足は全体的になり手がいないんです。」「道じゃなくて国レベルですか」

「まあ国、どこの地域でもまあ先生が少ないですし、なりたがらない。ちょっと前は倍率めっちゃ高かった 先生になるのに」「そうですね、ぼくら世代もそうです。」「先生になりたいと思わない」「先生やってるのにね(笑)」

「今大変。いろいろ楽しくなくなっちゃうよね。先生いなくなる」
「けどあと、人口の偏りもあると思うんですよ。僕、布礼別に住んでるんですけど、うちの学級3人に先生1人ですからね。おかしくないですか?人口密度っていうか人口のこう遍在。片や40人に一人っておかしくないですか?」

「そうですね、うちらは良いですけど」

■行った先でどんな話があったか？

「じゃあCさんから、逆時計回りでお願いします」

「はい。えーと私はですね、これまでの枠を外した魅力程なビジョンていうところで

いろんな案が出ていたんですが、教育の分野でまとめてお話をさせていました。よく出ていた案としては、専門学校だとか高校1校の教育機関の充実をはかったらどうでしょうかっていう案がありまして、あとは看護学校の中に医学部にみたいなのがつけられた良いんじゃないかっていう。そういうのができたらいいですねっていう話がありました。

あとは、外国人の受け入れの中で例えば日本語学校みたいな環境があった場合、海外の子たちが働きながら日本語をまなべるっていう今就労で富良野に来ている海外の方々がいるんですけど、やっぱり日本語が喋れなくてなんか仕事の後に日本語を学べる環境があったら良いんじゃないかっていうのから、そのあとに海外の方々も富良野で学んだとか勉強、仕事したっていうのを持ち帰って自分の国に帰った時に、また来たいっていう、そういうストーリーができれば、長いおつきあいができるんじゃないか」

「この日本語学校の話はさっきの話に繋がりますよね。このコミュニティ？もうちょっとハードルを下げてね 面白いですね」

「じゃあDさん お願いします」

「はい。人口減少でも豊かな富良野の未来を作るってことで、人口減少からの課題と解決みたいなどを話して、主に、労働者不足をどう改善できるかってところで、やっぱりIターンUターンってところがキーワードにありまして」「そうですね」

「IターンUターンさせるにはどうしたら良かったところで、新しいアイデアとか、生活環境の充実、そのようなところをさっきはアイデアを出されましたね」

「具体的に面白いなってのはありました？」

「ありましたね。意識改革。何か新しいことをみんなでやろうではなくて、個人一人ひとりの意識であったり、危機感。この豊かさってところがキーワードだと思うんだけど、いまその満足できてないところを、自分の力で満足に変えていく取り組みがまだあるんじゃないかな」「ありがとうございます」

「Eさんお願いします」

「自分のところも人口減少の中でも豊かな富良野の未来のために必要なことというのがテーマでしたので、まあ、人口減少するんですけど、それを増やすことができないとか維持することができないとか、減る角度をいかにゆるくするかってことを。

その中では、例えば富良野に来てもらうっていうことでも、例えばすごく面白いと思って帰ってもらって関係人口になってもらうとか。あと子供達減って学校が廃校されていったらそういうのを利用して、たとえば特別支援学校として利用したらどうだろうか。廃校を利用してという意見もありました。豊かになるってことは心が豊かになるっていうことだから、本当にひとりひとりのつながりを大切にしながら、みんなが手を取り合って年を重ねていけばいいのではないかと」

「ありがとうございます」

「綺麗にまとめてもらいすぎて書けないです(笑)完璧すぎてコミュニケーションの次がわからない。生きがい作り、つながり作り。お願いします」

「私がいたところは富良野市のユニークポイントを見つけるです。」

「はい、ユニークポイント」

「やっぱり富良野のユニークポイントは演劇があったり、っていうところを主に話して、演劇だったら今小学生にも教えているのももっともっと継続していきたいっていうのとへそ祭りだったら、今のままじゃなくて、伝統残しつつそれを新たに変わっていくっていう変化を期待していった方が行った方が面白いんじゃないかって」

「変化を期待。ありがとうございます」

「じゃあ僕はみんなの僕は待っているjホーム側だったんですけど、みんな出てくれて、すごい意見があったってことで、みんな褒めてくれました。

みんなは結構、これだけ意見が出て、一番良いのはこういった場が欲しい。

行政の人が情報を事前に、もし決まってないことでも、こういう場に出して欲しい。議会だったら手を上げては話さなきゃなんないのはちょっと。手を挙げるほどの意見ではないって自分で思っちゃうから、こういう肩書きも年齢とかわからないひとがいたらいいなど」

テーマ:『自分の周りの人たち/ここにいない人の声』を拾い上げる

チーム:第1回ワークショップ/チームD-1



自分の周りのことになってしまうので、限定的なことになってしまうんですが、北の峰の上の方で、民生委員をやっているんですね。そうすると元気な一人の独居老人が、私たちの行くところがないのをよく聞くんですね、元気がないと問題があると入るところはいっぱいあるけど、元気な人が行くところがない。売ったとしても、新しく建てなきゃならない。アパートに入ったとしても、そんな小さなところの入りたくないみたいな感じで、そういうのをよく聞くんですよ。元気なお年寄りが、集まって生活できる場所があればいいねっていうのをよく聞きます。

住むところっていうイメージですかね？
遊ぶところ、集うところではなくて住むところっていう。

そうですね、住んで医療が近くにあって
似たような仲間たちで何か色々できる場所があればいいなっていうのを常々聞きます。

あと、同じ町内会の役員もやっているんですけど、そういう独居の方がお家を売って、市内に住む札幌に行く江別に行く、今戸数がガンガン減っているんですね。北の峰が。逆に外国人の方が増えているんですけど、町内のコミュニティに維持が将来的に不可能になってくるのではないかなという問題が今出てます。なのでそれはもう止められないので、どう共存していくかだとは思んですけども、そういった問題が出てると。

最後に個人的な心配なんですけど、外国の方が大きいホテルをガンガン建てるんですけど、富良野に人気なくなったら、ゴースタウン化するんじゃないかなって、そうすると治安が悪くなる可能性があるんじゃないかなって思うんですね。大きなものがってしまうのはしょうがないんですけど、それを維持していくことを考えていかないと、好きで富良野に住んでいるんですけど、ちょっとそういうのになったらやだなと思いますね。

北の峰の特に上の方、新プリに行くラインよりも上ったら、ペンションができる地域とかできない地域とか商売やっていい地域とか
実は市街地で分かれていたりするんですね。北の峰の上の方っていうのは、ペンションとかもできる地域だったりするので今言ったみたいに家は建てるんだけど住んでなくて、貸すだとかそういう人が増えてるんで、回覧板も回していいんだか回さなくていいんだとか、町内会に入られていないのでっていうことが、悩みとして、地域にあるんだと思う。

北の峰ってなん人もいるんだろ？何かあっても。お巡りさん呼んでも駅前交番だったりするんですね、近くに交番がないから
人がいなかったりするから、治安とかの面でもにやみがあるのかなと思うんですけど、外国人とかの関係でとかって書かれたかた居ますか？

いろんな意見があって、外国人いらないとかな昔ながらのっていう人もいれば、外国人が色々入ることでホテルだとかも新しく更新されたりだとかっていう

メリットもあればといういろんな意見があったりすると思うんですけど、こういう風になっている部分だったら、外国の方も遊びに来るだけじゃなくて、実際に住んでいる人もいると思うんですけど、近所に住んでる人っています？

せっかく住んでくれているんだったら、参加したり知り合いになったりとか、もしかしたら英語がどんどん喋れるようになるかもしれないし、っていう部分でせっかく住んでもらってるっていうのを、やだっていう部分もあるかもしれないけど、財産として外国の友達がかっこいいじゃないっていう単純な部分かもしれないけど、いい方に持っていくっていうのも大事かもしれないですね。

住むならいいですよ。住まないでそれも貸すんですね。商売として使うので、隣近所の付き合いが少なくなっているんですね。住んでいただけたら、ゴミちゃんと出してねとか話し合えばわかるんですけど。

橋向こうはなんか空気感じがいますよね？
街もなんか違う町になってきた感じが。

あと5年たったらガラッと変わると思う。

看板のデザインのセンスがなんか違ったりしますよね。
同じ英語でも字の書き方が違うとか。

町内会費とかも入ってこない。住んでいないから。
班の中にたくさんおうちがあっても町内かの維持ができない。

それが今問題ですね。

知り合いの北の峰の実家も並びが住所見てもカタカナばかりだったりとか
ほとんど住んでいない。
どうしようかっていうのが。

地域懇談会の話でもどうすればいいのかっていう話ですね。
町内会費っていうのがゴミステーションの管理だとか、街灯だとかいろんなところに使われているんですけど、戸数が減ってくると収入が減ってくるので、ホテルとかからもいただいているんですが、収益物件、民泊に使うだとか貸すとかオーナーがいて利用者がいるのでできればですが、市の方とかでそういう方達から、会費なのか賛助金なのかわからないが、町内の方に落としていただけるようなシステムがあると建物自体は減らないはずなので維持しやすい。

太い通りのでかい照明って市が払ったり、道が払ったりしているけど電柱につける小さい電球は町内会で負担しているんで、戸数が減ったらその維持も難しくなりますね。

中富良野町とかは外人さん歩いてる？
ペンションとかスキー場の裏とかいっぱいあったりするけど、市街地とかも？

太い通りのでかい照明って市が払ったり、道が払ったりしているけど電柱につける小さい電球は町内会で負担しているんで、戸数が減ったらその維持も難しくなりますね。

中富良野町とかは外人さん歩いてる？
ペンションとかスキー場の裏とかいっぱいあったりするけど、市街地とかも？

市街地はいない。一部。
農家さんで雇っている外人さんとかいるのかな。

山部のほうは？
山部も農家さんですね。
ちゃんと農家さんがお世話して大切にしているので、北の峰とはちょっと違うかも。

管理人はいるかもしれないけど、言われて管理しているだけだったりする。

町内会の維持以外に治安ですね。
夜中に花火したりとか多少の迷惑はあるが、そこまででもないですね。これか先ですね。建物建つは人来ないわだったら。

空き家とかが増えると治安の部分にも繋がったりしますしね。
また一個一個が大きいとそれが空き家になると死角が多くなりますしね。

元気な高齢者の施設っていうのは、共同住宅みたいなイメージですか？
シェアハウスになるんですかね？元気なだけで、ただ寂しい。
また北の峰が高く売れるので、外国の方に売って、出てっちゃうから外国かが進む。そういうサイクル。

老人ホームではない共同住宅ってなにかありますか？
サ高住(サービス付き高齢者住宅)介護を受けていなくても入れる。
土地の安いところで一つサ高住建ててくれば。

部屋があって、団欒する場所があってってイメージかな？
何かあったら電話してくれる人がいたりして。
大きい場所だと、中にお医者さんが24時間常駐しているんですよたしか。

それとは別にいろんなイベントを作って住んでる方で色々やったり。
やり方色々あるけど24時間いつも誰かと繋がっているっていうか、隣近所に人がいてくれて、困って呼んだら助けてくれる。 管理人さんが支えてくれる。
それ以外は介護の提供はないんですね。

そういう話が増えてくる時代なんじゃないかな。きっと。

ブームが去りましたよね。補助金があつたりで、何年まえだったかな？
その時もばーっと建ったんですけど、富良野市みたく人口が少ないと、事業としてやることだと思うので、採算合わないんじゃないかな。
札幌、旭川は結構ありますね。
限界集落の自治体で取り組んでいるところありますよね。

お年寄りが安心して住める何かがあればいいな。

今の介護施設が高くて入れない。
値段は施設によって違うのか。
国民年金で入れる施設が欲しいって声はありますよね。

そういう施設はあるけど、キャバがいっぱいなんだもんね？
いっぱいというか働く人がいないのでベッド貸せていないというか。
老健さんと100床ベッドがあるけど70床しか受け入れられない、働き手がいなくて。
働く人がいればもう30床はいける。
金山の施設もそうですよね。貸せない場所がある。

でも待ってる人結構いるんですよね？
入りたくて待ってるけど入れない。

働き手というのは、介護だけではなくて農業建設、どこもそうなのかな。
働き手不足ってどこの職種でも聞きますよね。

やっぱり若者が遊ぶ場所が少ない。
友達来ても、富良野で何するってなる。

映画館とかゲームセンターとか娯楽がない。
旭川に比べちゃうと。

旭川のイオンとかお年寄りの方も集まって、お茶したりしてる。
そういう場所が一箇所でもあと結構みんながあつまれる場所ができると思う。

高校生は？

インターネット環境がないです。光が来ていない。

市街地の学校を結んでいるラインぐらいしか、光が来ていない。
ADSLがあと何年かで無くなるって話になるけどどうなるんだろう。

五区の人で、大学が専門家わからないけど、授業で使う動画が見れないから、
wifiがあるところまで行っているとか。そういうことだよな。

単純にネットするだけではなく教育っていう部分でも困っちゃう。
iPadで宿題ができる時代になっているのに、環境がなくてできない。

自分のケータイの中にアプリがあって、学校の学年ぜんたいで入っているような。ないとやっぱりこまる。

街とかによっては学生一人ひとりにiPadを渡してくるところもあるのに、
ふらは自分ので勉強するんですね。

市街地、北の峰、御料はひかりが入っている。

どんなところに遊びに行きたい？

冬になると少なくなります。
屋内施設がすくないので。

スキー場に行くしかないもんね。
こういうのがあったらいいとかは？

マルシェとかみんなで座る場所あるけど、高校生で行くとダメって言われる。
勉強とかしてもダメだからって言われるのでみんなで集まって話できる場所がない。
タマリーバナのにたまれない。

賑やかな図書館がブームなのに富良野は遅れている。

駅のキオスクがなくなった。
そばフライは食べられるかも。

観光客の運転が少危ないと思う。

足に困るから、免許返納しないっていう高齢者の事故もある。
公共交通機関が発達しているため、事故が多い？
中富良野は高齢者が乗り合わせで安くタクシーに乗れる？
高齢者の方が無料な巡回バスがある。

利便性が高まれば高齢者の返納がすすむかも。返納しないと生活できないっていう実態があるのが。
元気な高齢者がサロンとかに行きたくても、特に冬だったら足の問題も出てきて、行きたくてもそこには行けない。
タクシーを使う人もいるみたい。使える人と使えない人がいる。

チェーン店が欲しい。びっくりドンキーとか。
フォーレストの2階ぐらいしかない。
びっくりドンキーで勉強している人もいるよね。

高校の近くにお店がない。
ほっともっとぐらい

冬のイベントがあると嬉しい
今はスキー祭り、山部の雪ん子とか、かんかん村とか。
あとはお芝居とか。

テーマ:自分の周りの人たち/ここにいない人の声を拾い上げる

チーム:第1回ワークショップ/チームD-2



※音声なし

1.箇条書き要素

あちこち駐車場無料でありがたい

自然がある

太陽の里の発信が活かしれてない。山部だけでなく富良野全体でサポートする夏だけコミュニティバスを出してアクセスするとか・・・

遊休施設の有効活用

中学生の通院も補助してほしい

医療費予防接種無料にはならないのかな

大学を卒業して富良野に帰ってきてても自分の望む食が無い。

若い人の働く場所がない。

人材不足

富良野の企業はどっこもそう!

お局さんがいるから若い人育たない

うつの人が来ても互いに気を使って長くつづかない

農業の担い手

ベトナムの人とかが来てうまくやってる。

外国人とのトラブル

富良野から離れていく人をとめないで人口減少が増える

富良野らしいもの富良野しか無いものを作っていく

富良野らしいお土産ってなに?

公営住宅が一人暮らしには広い

富良野がニセコ化しないでほしい。

北の峰のコミュニティが気になる

町内会巡回バスが欲しい

地域懇談会の場が意見出しづらい

景観が良い

夜に軽い外食する場所が少ない

スキー場のチケット代が高い

山部の中学校廃校→避難所がなくなる

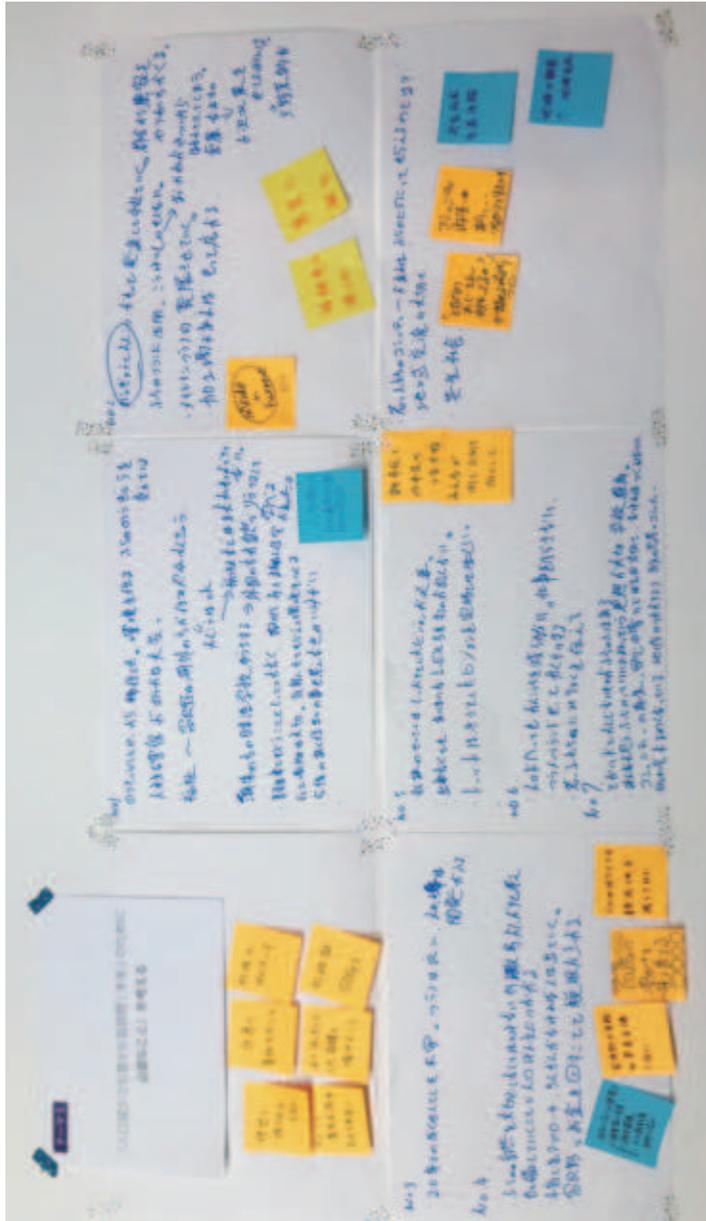
同志のつながり
子供が安心して遊べる地域
学校の近くに学童欲しい

農業のあり方
JAありきでなく、海外の柱にスポンサーをつけていく必要

富良野ブランドの確立が必要
北の国からは通用しなくなった

テーマ:『人口減少でも豊かな富良野の未来のために必要なこと』を考える

チーム:第1回ワークショップ/チームE-1



テーマ:人口減少でも豊かな富良野の未来のために必要なこと

1.富良野はひねくれたり、ずるい人間が少ない安全な街

Q.ひねくれた人間が少ないとか、ずるい人間が少ないとか、それは外の市町村と比べて？

A.実は私、40年以上警察官をやっていて、色んな街で色んな人を見ましたが、富良野は本当にこの通り。純無垢(じゅんむく)だし素朴だし、ずるい人間いないし、人間環境が一番保ちやすいのではないかと。例えば人口減少の1つで言えば、このまま行けば住みやすい街と思います。

都会に行けば人間がいますから、、、人を戒めても自分がよければ良いって人間が多くなります。ところが富良野はそういう人間が少ない、なぜかと言うと、ちょっとしたらあの人は私の知り合いだとか、あの人は私の友達の友達だとか、親戚の知り合いだとか、そういう環境が多いので、人を貶めてやろうとか思う人は少ないんじゃないのかなと思う。

で、すごくそう言う人間っていうのは警察としてはやりやすい街なのではないかと、思います。笑私やめて3年になります。今まで北海道12箇所そんな市町村見てきました。

町、町の人情だとか、住民の考え方など見てきたんですけど、富良野っていうのは一番潤無垢(じゅんむく)でズルさが無い。

人を蹴落として自分がの上がろうというのはいない。

すごく人間に関しては良い街じゃないかと。。。これはね、色んなところを見た人じゃないとわからないんですよ。ずっと住んでる人はわからないんです。

Q.犯罪は少ない？

A.少ないです。人口の割にかなり少ない。異常なんですよ。

僕も何故かずっと考えたんですよ、住んでる人間性の潤無垢(じゅんむく)さとか人を蹴落としてまで人を引きずって言う犯罪の余地がないんです。

やっぱり、あの知り合いだっという中では(犯罪を)やりづらい。

観光客の犯罪も少ない、、、

今私二重就職でA社に勤めてるんですよ。

富良野へ入ってくる観光客は皆お金持ちですよ。だから窃盗だとか、、、外国の方の犯罪はないですよ。

逆に日本人よりお金持ってますから、

地を守るっていうか、人間性をそのまま出せば、飾らなくも良いんじゃないかな？と思います。

2.外国人観光者の増加に伴う状況での

日本人住民との関わりを考える件

私北の峰に住んでいて外人さんが増えていて、町内会費の問題だったり徐々に出始めていると聞いている。

私は宿泊施設に勤めているが、外人さんと関わる機会が多くて、外人さんだから差別することもないだろうし、せっかく魅力を感じて富良野きてくれているので、なんとか地元住民とうまく共存できる方法はなんだろうかと、

今でもわからないんですけど、そういうのをみんな理解しながら、見つけていく取り組みが必要なのかな？と思います。

具体的には？アイデアなど

外人さんへ対しての考え方を、皆さんいっぱい考えてると思うんですけど、悪いイメージを持っている人もいますが、個人的には良いイメージを持った人が結構多いと感じている。すごい優しい人も多いです、交流をもっと増やして行けば良いのかな？と思う。基本的なことというか、そこからアイデアで外国人との交流が生まれてくるのかな？と思う。

日本人って親切すぎるんですよね。本来はそこまで親切ではないんですよ。例えば、外国だと英語を話せないと相手にしてくれませんかから、本当はそういう態度で良いんですよ。日本に来たんだから、日本語話さない、それができない人は日本語を話せる方を挟みなさい、なんで私らがあなたの国の言葉で話さないといけないの？そういう強い気持ちでいないとナメてますから。英語喋れて当たり前っていうけど、日本の文化を知らなさすぎる。日本に来るんだから日本語覚えなさいよ。私らだって、外国に行くのに英語を勉強して行くんでしょ？そういうアレ(風潮?)を植え付けさせないとだめ。

言葉自体は英語を話せた方が良いと思います。

でも、相手に英語を喋ってあげる必要はない。だって相手も日本語喋れなくて困ったら、日本語を勉強しますから。本当に僕の個人的な考えだからね。

話せなくても、外国の方とコミュニケーションが取れればっていうことですよ。

日本語を勉強されてる人も結構多いと思います。それも教えつつ、教わりつつ、、、言葉の壁ってのもあると思うんですけど、言葉じゃなくても伝わるものはある。みんな経験というか、体感できたら良いのかな、と思います。

3.外国人移住者に対するサービス

夫が外国人なんですけど、私はさっきの話とは逆かな？と思うんですよ。移住者に対して融通が利かなかつたりとか、「これ法律ですから」っていうんですけど、いや、それもわかるけど、なんかもっとないですかね？とか思う。冷たいまでは思わないですけど、国自体人口が少なくなって来て、じゃ外国人研修者うんぬんとかの動きになって来ているのに、足元がそんな事を言っていたら、何も変わらないじゃんって思うところがあって、まあそんな大きな事を話しても仕方がないんですけど、ちょっとなんかこう、サービスっていうか、良い言葉が見つからなかったんですけど、外国人移住者も増えて来てるんだから、それに対してアクションがないとイザコザが起こるとか、お互い気持ちよく住めない、じゃ出ていけよって言われたらそれまでなんですけど。

ちよく住めない、じゃ出ていけよって言われたらそれまでなんですけど。

受ける体制？心構え？

まず、慣習などを覚えてもらうなど？

いや、わかっています。私この出身なので、全部わかっています。その上での話です。

4.外国人専門学校を受け入れ

外国の人が富良野に住んでくると地元のためになる、研修者や労働者が入って来てその人たちが一緒に住んでいけないとしても、...

学生が増えるとバイトする人も増える、すごい人足りないでそういう面でも外国人のように英語を話せる人も多いので、助けられる部分もある。若い人たちが増えると街も明るく見えるので、学校あったらすごく良いなと思う。

市民が減る中で外国人も受け入れていかないとっていう事ですかね。

5.良さの魅力を生かした町づくり

今後、こういう豊かさの話で、ムーンスピーチからハートスピーチってのは、カッコつけたんですけど、僕も富良野に住んで長いんですけど、やっぱりさっきのゴリラの映像で多分わかっているんですけど、当たり前になっててわからないと思うんです。

だから、富良野の良さはなんだろうなってきつと皆さん違うと思うんですけど、、、これからITやAIが発達してどんどん便利になって行くと思うけど、都会ではキャンプやアウトドアが人気になって時代とは逆境してると思うんですけど、そっちの方が富良野の魅力を活かせるんじゃないかなと思うんですけど、僕もキャンプ大好きなので、アウトドアブランドと提携して、富良野にもそういう魅力的なキャンプ場いっぱい作って、世界に発信するくらいのそういうと所を作るのも面白いんじゃないかと思う。スノーピークなんかと連携して。なるほど～、映えですね。w 冬は山スキーとかっていうのを、、、そういうのを北市長にPRしてもらって。。。

外にいるとわかるんだけど、僕もだんだんわからなくなっていくと思って、だったらこの話を外の人たちだけでしたらどうなるのか？と思った。時々市民が覗きにくるとか、言葉を「へえ、それを豊かさだと感じてくれるんだ」とか、「そこが良さなんだ」とか、外の人たちの発見する場を作って行くっていうのは、もしかしたら面白いのかな？と思った。

それは絶対思います。さっきのゴリラのように気づかない事を気づかしてくれたっていう、私はそれをすごく感じていて良いと思うんですけど、富良野出身の人間としては、嬉しいですね。外から来てくれた人が教えてくれてるっていう、私もボヤボヤしてられないよって思う。

そうですね、正解ないからこそいろんな視点をどう取り込んで行くか、

さっき休憩の時に、「こういうのやるからには、成果を出さないかね？」っていう人がいたけど、私はまずやるのがすごく先進的というか、すごく保守的な地域だよなって前から思っていたけど、何をやる？じゃなくて、だよな？って思ってる止まりだった、それぞれ思ってることはありつつどうにかしたいけどって思いたと思うんですけど、まずはこういう事をやる事、一回じゃなくてどんだんいっぱいやってみる事、多分やったらちょっとづつそれぞれが自信を持って、ちょっとずつ変わったりして、大きいイベントやる人がいたり、自主的に変わる人がいたり、なんか、こういう活動をやって行くが必要なんだと思う。そうすればこれをきっかけに移住者や外国人もきてくれるのかな？と思った。

6.人口減少、一人一人の意識

僕山部なんですけど、基本的には山部の活動しかしてないんですけど地域の活動やイベントをやると決まった人しかこない、山部に同級生いるのに、誰も参加しない、声かけてもさほど興味がない、一人一人が意識を持てば、普段出てこないような人が意識持って考えたりすると多少人口が減っても、いる人間で補える。参加してくれない人に意識を持ってもらう、そういう活動があれば良いと思う。

〇〇さん、A国から帰ってきたよね。

帰ってくるきっかけってなんだったの？
子供が生まれたから。

A国では子供を育てたくない、って思ったので、尚且つ日本語は難しいから、ちゃらんぼらんA国語でも生きてこれたからまずは、てにをはをしっかり完璧にコンプリートさせるには日本の学校に入れないと無理だと思ったので、たまたま仕事が何と無くありそうだし、時間もありそうだし、帰ってきた。

子育てのためっていう部分が基本的にあるんですね。

そうですね、ただ、じゃ、たまたまです。
日本に帰るのなら、正直どこでもよかったんですけど、だけど富良野は私が育った場所だからある程度イメージはできる。
色々候補はあったけど、あえて富良野の外ではなくても主人(外国人)と小さな子供を連れてってというネガティブな要素を考えると、富良野近郊にきた方が自分が大変にならないかな？と思った。
あと、将来、富良野に住んで生きてきて楽しかった分、恩返してほど大それてないですけど、なんか子供たちに来てたら良いなとそんな気持ちです。

7.子育てしやすい街づくり、若者が過ごしやすい環境づくり

前に保育の仕事してたのでそういう面でも子育てしているお母さんとか、子育てしてる人結構いるので、そういう人たち見てると保育所に入れなとか、シングルマザーの人とかいて、育てにくさとか、その点を富良野が進めてくれたら良いと思う。
子供が遊ぶ場所が少ないとか、小学生になってから遊ぶ場所が少なくなってる。

それは、富良野に住んでる人はわからないんですね。
こんなもんだよって思ってますよ。

自然の中で遊べばって？っていうのはあるんですけど、やっぱり働かないと、、、人いないし、、、なかなかうまくいかないっていうか

市町村によって取り組みが違うんですね。

だからそこをもうちょっとうまく子供を育てやすいように、していただければ若い子も子育てするんなら富良野っていいよね、帰ろうよって思うと思う。
若者も生産者もそんなに生き生きしてられなくなるっていうか、だから若者が過ごしやすい環境づくりと子育てっていうのはそういう意味でした。

子供がいる人がこればいっきに3人ですね。(父・母・子)

保育料無料にはなってないですか？
はい、なってます。

でもなかなか入れないでしょ？
そこは行政になんとかしてもらわないとね。

はい、やっぱりお母さんもお父さんも働かないと一人じゃ子育てしていけないっていうか、余裕がないとか大変でまあそれは日本自体だと思うんですけど。。。

〇〇地町村では、〇〇がどんどん少なくなってるよね？

はい、なってますよね。

横浜のマンモス校って待機児童が少ないんですよ、それは保育所が許認可なんですよ。

今、先生をスカウトしてに大学にすぐいくみたいですよ。
で、生活費全額払うっていう、

そのような活動を富良野がしてるか?っていうとしてないでしょ。
そうしないと子供増えないですよ。

情報がないから、あるかもしれないけど、そういうのあったんだ?って後から知る。
そういうのが改善すれば過ごしやすくなるのかな?と思います。

8.介護されないような高齢者を増やす。

これは生きてればみなさんいつか歳をとって、いつか高齢者になるんですけど、私は3月まで仕事をしてその後失業保険をもらってる間に、いろんな人と出会いがあって、今日もこういうところに関心を持ったのも初めてで、今までは仕事と家だけの生活だったんですけど、そういう豊かな気持ちになれてそう思った。

今の世の中では介護する人も少なく、介護される高齢者が増えているけど、働くということがどれだけ素敵なことか、イキイキ生きて行けるか?高齢者の中でも健康であれば例えば足が痛いけど、何か仕事がないか?

私、身近で一人になった80歳の方がいるんですけど、足が悪い、でも6万なんぼかの年金で食べていくのは大変なんですよ。

そういう弱者、、、いっぱいもらってる人はそれで良いんですけど、世の中はそういう人たちばかりではない、高齢者の方で生活保護でっていうけどそういうことではなくて、自分で働ける場所があれば最高だなんてずっと考えていて、それがなんなのかな?って100人のいろんな知恵とかそういうの出せば、それこそ余って捨ててる野菜とか、そういうもので何か作る、なんかそういう加工場ができれば座ってでも何時間でも働く、もちろん若い時とは違うからフルで働くって事をしなくても、せめて社会と関わっていったお金ももらって行政に頼らず、経済的負担をかけずに自立する年寄りを作って、一石何鳥にもなるような事をずーっと思ってました。

それこそ子育て世代からすると、ちょっと上の子病院に連れていかないといけない時に、一時間いるだけで良いんです。っていうことが結構あるから、多少足が不自由であろうといってくれるだけで嬉しいかも。。

そういう助け合いがあると明るい富良野の未来があるので、実現できれば。。

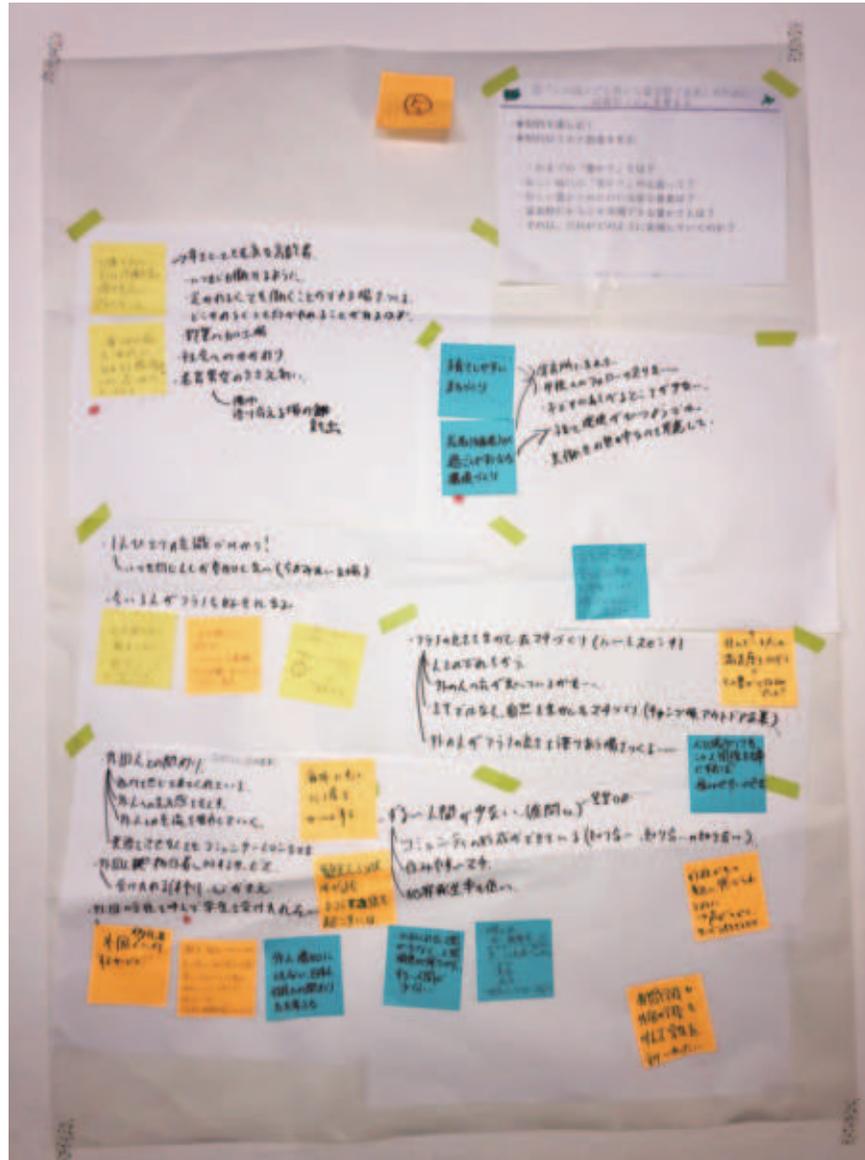
助け合えれば最高ですよ。

私ゲストハウスをやっている外人さんとか、和食が食べたいとか、作りたいっていうお客さんはいるけど、なかなか人がいなくてそういうイベントができない。

地元に住んでいる、昔から住んでる人に入ってもらって色々できると楽しいし、お互い楽しい。

テーマ:『人口減少でも豊かな富良野の未来のために必要なこと』を考える

チーム:第1回ワークショップ/チームE-2



 1.労働者の人材確保

今後の人材。働く人が足りないということで、それをどうやって確保するか、それは外国人なのか？富良野外から来る人の住居をどうやって確保するか？

移住者への受け入れ態勢？

例えば季節労働で来る人や、また1年2年3年などのレベルがあると思うけど、住みたい方など労働者が住める場所。それは、富良野内部の人口減少を補う考え？

そうですね、人口減少はなかなか止められないので、そういう人たちが来て働いて住める場所が必要なのでは。

 2.雇用・定住へのきっかけ

僕は移住なんですけど、最初のきっかけがJAの農業ヘルパーで、ここ(人材開発センター)に寮があるんですけど、寮があって食事があって、住めるからとりあえずカバン1つで来たんですよ。

FromAみて季節労働だけけど面白そうだし農業してみたいって言うきっかけの場になるので吉田さんが言う様に受け入れの体制があればその後富良野の魅力を知ったり雇用につながることになるので、賛成と言うか盛り上がりたて欲しいなと思います。

 3.農業ヘルパーの現状

どうですか、なかなかこう言う場所(富良野)は環境的には悪くないですか？

はい、住みやすいですよ。一人のスペース(一人部屋)だし食事も出て来るし、100人くらいいますよ。

多いときは120人くらいいて、いろんな年代の人がいて和気藹々で「あそこの農家はどうかだった？」など、情報交換しながら切磋琢磨しながらですね。1週間で帰る人や半年いる人もいるし、何年もある人もいます。そこは、農家に働く人のための施設？そうです。JAからの派遣で、農家さんへ手伝いにく。って言う。

非常に富良野の農業はそれが大事で、支えている。僕はそれから農家を始めました。

今でもあるんですか？はい、今でもやってます。

ただ、やっぱり減っていてなかなか(人材を)集められないって言うか人材確保が難しいって言うのがいまの課題で..すごいんですね、普通の産業では考えられないですね。結構他の地域からも「そう言うのやってるんだね。」って言われるくらい富良野のJAは頑張っています。

 4.外国人移住者への取り組み

私いいますか、私は北の峰に住んでますが、我々の業界っていうのはこれから外国人をもっと入れていかないとけない。この前もベトナムの方に実習にきていただいたけれど、富良野って外国人がたくさんいるっていうのは他

の街よりすぐポテンシャルがあると思うし、外国人が街に出て外国人がいるっていう安心感や、同じ国籍じゃなくてもきっと住みやすいのではないかと思う。

でもまだ、観光業では浸透してると思うが、我々の様な異業種の中ではまだまだノウハウや考え方がなくて、彼らのために何が必要なのか？が、まだ全然足りてない。

でも、他の地域よりきっと下地はあるはず。じゃ観光のためにどう活かしていけば良いのか、それは自分たちだけではどうにもならないと思う。

5.廃校の使い道

私、日本語教師してたんですけど、都会で日本語勉強している人たちって、自然の中で学びたいと願っている。なので外国の方が廃校になった山部の中学校などを誘致すれば、、、東山もそうですよね。そういうの(施設)があれば、すごく喜んでくれるのでは？と思っています。東京に来て、アルバイトしてすごい働いて日本語を勉強して疲れ切っていると思う。富良野に来たら自然が豊かで良いのでは？

6.お試し制度

私は「お試し制度」できました。元々はスキーをしていたので遊んでる2ヶ月の間は使わない職員住宅(月2万円程度)にいました。今はその「お試し制度」はなくなったのですが、その理由は観光や遊び目的の方が大半で移住へを目指してないから。

でも、私はそれがきっかけで富良野が好きになって移住したので、はじめは観光や安い宿やでも良いのでとにかく一度富良野へきてもらって、間口を広げたほうが良いし「お試し制度」ももう少し続けてもらったほうが良いかなと思います。

布部と東山と市役所の裏にあったんですけど、今はもうないですね。本当に間口を移住者だけのために考えないで、間口を広げているんな人がきてたまたま住み着く人いて、私も同じ時期に来て教員住宅に住んでいる方で残っている方とは繋がっているの、実際にそういう効果はあるのではと考えています。

お試し住宅って初めて聞きました。

住む場所は外部の人からしたら大切ですよ。普通だと家賃高いですよ。

自分は富良野で2年ですが、まずやっぱり家賃が高いと感じています。やっぱり外から来る人は、安い住居に住めれば良いですね。そうですね、短い期間、例えば半年とかって期間を区切っても良いかもですね。夏の間だけとか。。。

でも、やっぱりちゃんと仕事してもらったら良いんですね。休みの日に観光するくらいのお試しだったら良いかもしれませんね。

それは、でも、行政が主動でやるのか？民間でやることを行政でバックアップするのか？今後、富良野2つ高校あるけど、多分10年くらいの中で1つになる。そうすればどちらか1つの高校施設をどう活用しようかっていうのは今からちゃんと考えておかないといけない。さっき先生と喋ったら、10年以内には学校や部活が成り立たない、って言っていた。変に中学校とか東と西で合同チーム作るとかやってますけど、以前は小学校もくっつけるという意見もあったので、これからは学校が空きますね。

7.空き家活用の現実

僕は富良野へ来て5年くらいですけど、今は一軒家住んでてたまたま人の繋がりでそこへ入ったんですけど、家を求めたときに空き家が出て来るんですけど、新たに土地を求めて立てようと思うと、中心エリアからだいぶ離れた地域になってしまって、そうなると子供ができると色々不便さが出て来るっていうのは現状である。だから、まずは空き家を使って何かできないのかな？今は民泊だとか、ホテルに行っちゃってると思うけど、空き家を使ってもう少し違う方向へ持っていけないかと思えますね。

空き家は嫌になる程ありますよね。

でもそこに、いざ、住もうとするときはそこを直さないといけないので、帰ってお金がかかる。以前にもタダでもあげるって言われたんですけど、管理のことを考えると怖くて手が出せない。

8.農家の後継者が出て行かないように

僕は農業者なので、ちょっと農業と観光っていうこと。農業の後継者がどうやって楽しんでいくかってことで、富良野といえば観光と農業、農業が作り出す景色に観光が結びついていると思う。また、観光者が来るから農家が直販ができたりとか、その両者が衰退して行って欲しくない、っていうのが僕からの願いです。

だから、まず農業者がいないと続かない。

実際は農家さんにも子供がいるが、楽しみがないから札幌へ行ってしまう。だけどそうではなくて、後継者がきっちり継いでいくっていうのが大切だし、更に新規で都会からきて富良野の魅力を知って新たに農業始めるっていうのを広げれば良いのではないかと考えています。

9.農家の後継者が出て行かないように

昔から考えると農家の直売ってどんどんやりやすくなってますか？

でももっと積極的に広がっていけば、全国的に富良野のイメージは良いのでお取り寄せしてもらったり、その辺りがまだまだ伸び代があると思う。だからもう少しPRのやり方を考えて、観光と結びついて農業体験や収穫体験で来てもらって楽しんでもらって発信(SNS)してもらえれば良いのでは？と思う。

Q.逆に農家さんの後継者は別の仕事に就く人が多いですが、なぜでしょう？

A.やっぱりお金がきついです。

実際に僕らだけでなく、ここでずっと農家をしている方も同じくで、天候に左右されるとお金に影響があるんですよ。

なかなかキツくて大変だから、どうやって楽しくできるか？

古い倉庫を直さないといけない、古い重機を買い換ええないといけない、とか、やっぱり続けていくことだけでお金がかかって大変。

だから盛り上げていかないと新規参入も増えていかないのかな？と思う。

だから、第二次、第三次みたいなの、加工して提供するというような、酪農家さんもそうですけどそういう人が増えて、当たれば上がるし当たらなければ衰退するっていうのが状況で、そのままやっても結局伸び代が見えないんですね、農家さんは。

徐々には広がりつつあるんですけどね、Made in FURANOのような取り組みで。。

Q.Made in FURANOを更に加速させるにはどうしたら良いですか？

A.うーん、皆で考えたいですね。

Made in FURANOが開始して、まだ一年ほど、京野菜的なことかな？それぐらいの知名度が必要。

地元の人はMade in FURANOをどのくらい知ってる？

結構外へ視点を向けることが多いですけど、内側にアプローチが少なかったりするの僕的にはさみしい。

やっぱり観光客相手の飲食店だと値段が高かったり。。。。

なので、Made in FURANOの様な取り組みを地元の人が目を向けてもらえると良いのでは？

外ばかり目を向けるのではなくて。。。

10.6次産業への展開

僕もメロン屋で、ドライメロンを作ったんですけど、富良野で作ればMade in FURANOなんですけど、加工所がなく帯広で加工してもらっているのでMade in FURANOの認定ではないんですけど、そう行った様に、加工がしたいけど富良野にか加工場がないので、もう少しやり方がないか？と思う。

したいけど富良野にか加工場がないので、もう少しやり方がないか？と思う。

そこが残念ですよー。

産地だから、いろんな野菜があるけど加工所がない。そういう部分も何かできるのでは？

加工場ですね。

やっぱり作るってことも良いけど、それを発展させることができたら面白い。

なんか、一生懸命作る人はいて作ることに集中するけど、売るところまでは余力がないから、何か外の力が入らないといっぱいは作るんだけどそれを売るまでの力がない。余裕がない。

行政の手助けがないとダメですよー。

11.人口減少と開発

自分は人口減少でも豊かなふらのっていうテーマで、漠然と20年後、富良野の人口が6000人減の話の中で、自分は80歳になる。今も一人暮らしで将来も一人暮らしで生活が成り立つのかが心配で不安。

後、農業や自然は富良野にとって財産。これはちゃんと守って行ったほうが良い。

必ず、北の峰は乱開発になっていくであろうと思います。

自分は倶知安でニセコの近くですが、原風景はないです。別の故郷になってしまった。そんな風にはなって欲しくないです。

12.外部への流出を止める手立て

学生の後、外に行っちゃっているが

やはり富良野は自然が素晴らしくて、子供を育てる環境としては最高。それを活かさない手は絶対はないと思う。例えば「森の幼稚園」など、そこでユニークな教育をすると多分都会の人も来たいと思うと思う。

本当に都会に無いものを大切に、、、、もう一度価値を見直したい。

例えば鳥取県だと行政がものすごくバックアップしていて、そうすれば移住者もくるし、例えば介護の仕事をしている方の子供がそういうところで素敵に育てれば一番良い。

都会に行かなくても生活が充実する様な、環境が必要。

図書館とか、....そうすれば外にいかなくても良いのでは無いかと思う。サテライトデスクみたいなこともできるだろうし、と思っています。

13.子育てと労働賃金と地元でのお金の回し方

さっき人口が減ったとお話がありました、子育て世代ですよね？
「富良野は子育てがすごいよ！」っていうのがあれば、富良野で育てようって思う人がくるのでは？
いや、それだけでは足りない、やっぱり賃金が一番大事。
結局子供を学校に出すときにでもお金が必要で、子供が大学へ行った際も自分がここにいる仕送りが必要になってくるから、実際は親も子も出ていかないといけなくなるのは仕方がない。
そういうリスクはあるので、環境だけ整備してもダメで、環境と賃金、両輪でいかないと富良野へ居たくても入れない状況になる。

それっていつも考えるんだけど、商業の立場からだといやらしく聞こえるが、
どうやって富良野の中でお金を回そうか、、、農家の人は外貨を稼いで欲しい。
その稼いだ外貨をどうやって富良野で回すのか考えたときに、税金が増えて今の子育て支援にもお金が回るし、その辺をみんなで考えて、少し高いかも知れればいけど商店街でものを買ってこれて、そういうちょっとした考え方の変化を考えると富良野の税収が増える。

僕は吉田さんの店で眼鏡を買ってます。そして僕からメロンを買ってくれています。だからWinWin

14.総合計画について思うこと

端的にいうと、この取り組みが総合計画へ活用されると思いますが、結局は行政が作る計画は具体的でないといけ
ない。
そしてちゃんとしたビジョンがないとダメだと思っていて、前回見て足りないと思ったのが耳障りの良いことが残っ
ていて、結局富良野をどういう街にしたいのか？を皆でビジョンを共有して進まないといけ
ない。できるか？できな
いではなくて何より曖昧なことでき進むから自分たちは実際何をすれば良いか？というのが課題だと思
う。

中富良野や上富良野はそもそもコミュニティが小さいので、街の一人一人が行政を含め市民が街の担い手だと感じ
ている。
富良野はすごく中途半端な規模で市なのか？町なのか？人口は多くないのに....
そんな中でも今日みたいに意識のある人が参加している。そういう部分を固めることが大切だと思
う。
市の職員も毎回顔を見る人がいれば、全く顔を見ない人がいる。
そうなるのはやっぱりTOPの人がビジョンを見れてなくて、20~30年後富良野のあるべき姿を掲げて欲しい。
で、それができなかったから責任とれ！ではなくて、まずは目標を掲げることが一番大切。

皆が目を閉じて20~30年後富良野を想像して、だいたい同じ様な絵図らが出る様な総合計画があったら良いよ
ね。
で、皆の意見を組み上げられないです、みんな好きなこというから(笑)
で、皆の意見を総合計画に生かしてほしい。そしてSDGsのことを書いたんですけど、持続可能な実現目標でやっ

ぱり夢物語でできないってわかっていても、次の数値目標は上ではなくて、減らさない、減るレベルをここで止めよ
うという様な数値目標を掲げて行くことが必要

15.雇用

難しいことは言えないですけど、富良野は観光地だから人が減ってもいまある観光地を減らさない様にして、そう
するには人が少なくても働ける場所があって、それで観光地が崩れてしまうことがあって、うーん、そのブランド
が薄れていかない様にしたいと思っている。

仕事を減らさないというのは多いですよ。
探せば仕事はあるんですけどね。
やりたい仕事ではないのかな？

全ての人を外へ出さないっていうのは無理だけど、でも本当は農業もそこにあるものをちゃんと知ってるの？とい
うのを若い子たちに発信することが必要。

16.富良野の自然と地域性

1回目のWSで自然の豊かさが出てきたが、僕も富良野好きでこっちにきたくて、僕は札幌出身で都会にいると自
分にはふるさとないなと思ってた。だから余計にこっちにきて素晴らしい場所だなと思った。
だから観光地である富良野のこのメリットを生かすのは大切。
で、どこでも皆の共通認識が土台で、考えや思想や皆が持つてる感覚って大切で、
まず、土台として育てるのは教育でそれが大切。
で、それがなんなのか？っていうのはそれぞれの感覚で良いと思う。
今日ここで皆さんとお話できる機会は貴重だと思っていて、どこにいてもコミュニティの再生って言いますよね、そ
の再生ってのはやっぱりネガティブですが、やっぱりあって都会育ちだからわかるんだけど、マンションやアパ
ートの隣にどんな人が住んでるか知らないし、知る機会もない。
だから、今日の様な機会は貴重で安心な場だと思う。例えば「3丁目の誰かさんが仕事を辞めたよ」っていう井戸
端会議的な話せる時間や場所が必要で、こどもそうなのかなと思う。
皆さんもその様に感じてると思う。

17.町内会の現状

住んでる場所で違うのかと思うけど、ほかの地域も町内会も弱くなっていて昔からいる人は「若い子がこないんだ
よね」っていうけど、若者は若者で別のつながりはあるけど、地域単位の繋がりは薄く感じてると思う。
自分たちの趣向に近い人との繋がりは強いが、地域でみるとあの人知らないっていうのが多い？

昔、富良野にキャバレーができた。

何ヶ月かで潰れたが、あの時は「昨日誰々さんがきてたよ!」という話がだーと地域に流れていた。もういけなくなりますね、通通で。(良い意味でも悪い意味でも。。。)

ほんとと行政でこの様な取り組みはなかなかないですよ。

こういうところに来るのはごく一部の人で、南富良野の介護施設とかってすごく定着率が低くて、やっぱり他の楽しみがない、こういう仲間がいたり田舎の良さをいかした場所がないので毎日職場と家の往復ですごく勿体無くして...なんか分断しててふわふわしてて。

実際若くて一生懸命働いている若者はそういう場所では隔離された様な雰囲気与生活してて、、もう少し若い子たちが繋がれるコミュニティや何かがあれば良いのにと考える。
娯楽もないし、カラオケもないし、コンビニもないし、またみんな都会に行ってしまう。
それこそ、休みの日は外でアウトドアを楽しめる誘いのきっかけがあったり、、、

趣味趣向で繋がるのは大切ですよ。
僕はマラソンや自転車やるので、そういう場所に行けば繋がれると思っている。
若い人はどうですか?繋がりとか?

今は減りましたが、高校の同級生との交流が減る。富良野へ帰って来た時にその同級生がいないので、フラッと飲みに出た。そこでいろんな人の飲み繋がりができたが、それも自分が動いたからできたわけで、、、
そういうきっかけがあれば良いと思う。
で、そのきっかけを町内会でとると、それはそれで厳しくて。。。

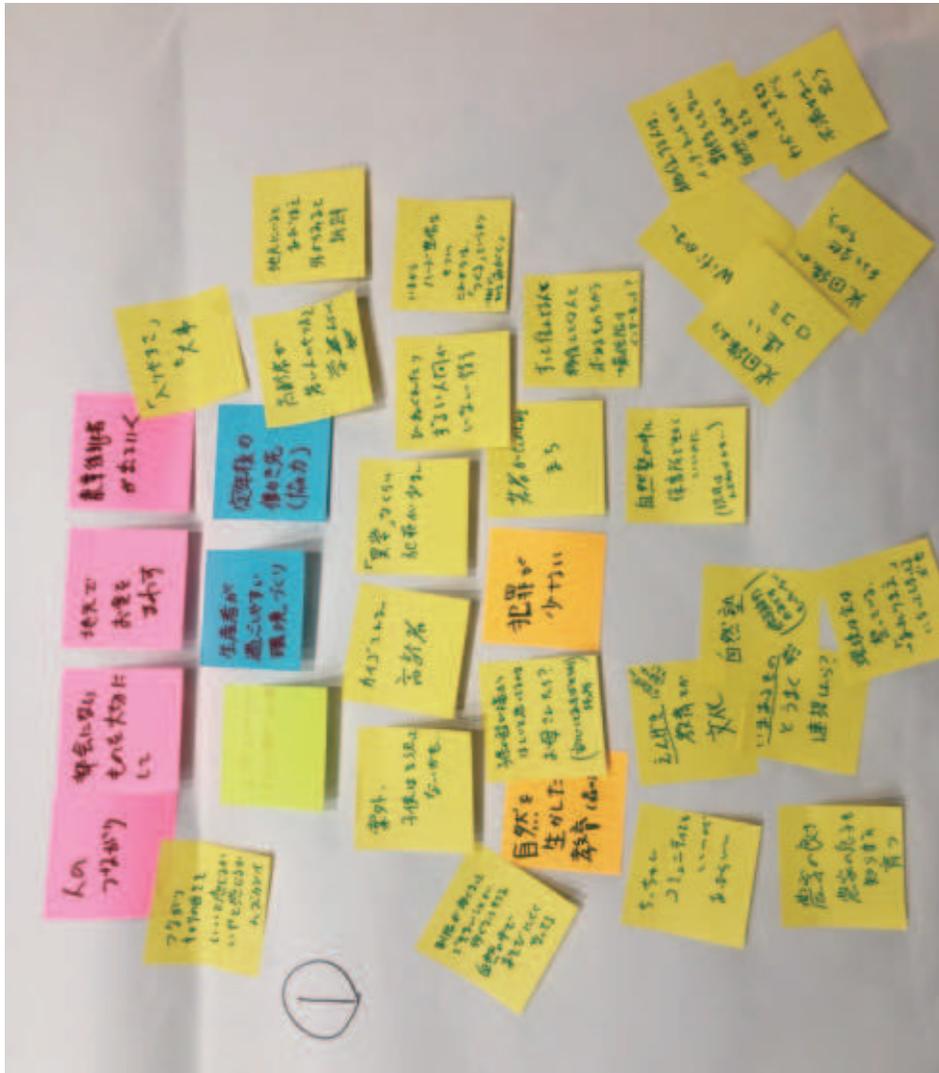
同じ地域の親密さと地域交流と共生社会っていうのをあげたが、
今実は町内会の班長をやっているが、そこで人がなかなか集まらないという現実を知った。
来てくれる人はいつもずっとそこにいる人たち。
高齢者や年配者が多い地域は、すぐに人が集まるけど、逆に新しい地域はなかなか集まらない。
集まって役員会でどうすれば人が集まるか?を話す、何1つ実現できない。
それをやろう!って声が上がっても原動力のある若い力がないか実現できないのが現状。

僕は田舎町で育ったので、町内の人は皆が知ってて子供も把握できているのが普通だと思っていた。
けど、富良野の街に来たらそうではなくて田舎臭さがなくて衝撃でびっくりした。
やっぱり「富良野の良さって田舎くささ」だから、まだまだ残っているのをそれを拾い上げてほしい。

多分農村地区の方がまだある。
毎月集会があったり、女性会があったり、子供同士知ってたりとか。
結局帰属属性があるんですよ。自分も担い手だって。
でも町村地区ではそれがありませんよね。組織はそのまま残ってるんだけど、そこに誰も帰属している意識がないんですよ。

テーマ:『人口減少でも豊かな富良野の未来のために必要なこと』を考える

チーム:第2回ワークショップ チームA



1.子育て・教育

「目に見える子育て支援があればいい」「そうですね、自分も知らない」
 「富良野は見えないってことですね」
 「知るのも大事」
 「子供を持ってる方々は、市が教育にこんなにお金かけてますよっていても、細かいことがわからないから、シンプルでわかりやすいところで ほんとにそういうところが1番目に行くところだと思う。本当にそこだと思う」
 「どこかのテレビで外国の出生率をあげるみたいなことを企画してる国を話してて、これぐらい補助みたいなのを国で立ち上げた。それをやったら今年から出生率が変わりました みたいな。こんだけはっきりやれば変わるんだーっていうのが、目立つようにやっちゃえばいいんだ。インパクトとか」
 「たしかにインパクトは、、広く浅いとは思う。」「わかりやすさって大事。」
 「もっと魅せ方をきちんとやれば違ってくるのかもしれない。情報を見せるっていうやり方を。東川とか東神楽とかは上手。」

「行政的な支援で言ったらそうだと思うけど、それ以外にもあると思う。自然がたくさん身近にあるっていうのもそうだし、そういうので現状こういうところがいいなって思うところ。他にはないなって。悪いところをみたら行政的な支援の部分も出てくるかもしれないけど、良いところでいくと。」
 「戻ってこない理由は気になるけども、新しい人も入ってきますよね。」
 「富良野に住んでみたいっていうイメージ、アピールできると。」
 「戻ってくるんじゃないかって、他所の人が入ってきやすければその人達に来てもらうって考えたら、学生をなんとかっていうよりは。僕は離れたことないけど、一回出て行って色んなものを吸収した上で戻ってきてほしい。他の町見たことないから、出て吸収して戻ってきてまちづくりに生かしてもらえたらいい。」
 「戻るためには・・・」

2.農家の担い手、労働力の確保

「業種は限らず、戻ってこないのはしょうがないよねっていうことで、外から来てもらう、それを見てもらうことで町の人にも気づいてもらう。」
 「緊急性とか課題性みたいな問題点を見たときに、外国人のとかって課題は薄いのかなって。労働者の確保とかこの辺が問題意識があるのかなと思うので、楽しむこととか意識の転換とか課題の具体的対策みたいなことがもう少し出れば糸口がみえてくるのかなと思う。
 結構これ大きいことなのかなと思ってます。」
 「麓郷に住んでウェブデザイナーしてるんですけど、そもそもないと思って来てるんで、インターネット回線がないけど住みたいからどうにか自分でしようと思っていて。どちらかという意識は自分で変えようって感じ。インターネットきてください!っていうよりは、仕方がないよねじゃあどうしようか、セブンイレブンまで行ってアップロードしようかっていうやり方をやっている。富良野に対してあまり不満はなくて、ちょっと意識が違うのかなと。良くも悪くも。」
 「移住の方ってないと思ってきてるから、意識が全然違う。逆に元々住んでる方と、求めるんじゃないかって自分で意識を変えることで解決できるってことですね。」
 「決してネガティブじゃなくてこういうことに繋がってくるのかなって。楽しむこととか。」

町に対する意識っていうことが一人一人が考えていかなきゃダメだよっていう。みんなが色々なことを考えて行動をとるべきなんだろうな。漠然としてますけど、そういうつもりで意識をもってダラダラするのではなくて。」
「意識があまりないというか、他人事になってるかもしれない。」

「楽しい町」
「労働力の確保とか後継者とか深刻なんですけど、どうやったら後継者戻ってくるかなって。仕事あるっていうのは大前提なんですけど、やっぱり楽しい暮らしの部分があると思う。だからってパチンコ屋さんがもっとあったらいいって話でもないと思うんですけど、富良野の楽しい町っていうのが提供できると、帰ってきてても楽しくなかったら意味ないですもんね。」
「若い人が戻ってきたくなるのはどんなことだろうって、本人から言わせる場みたいなのがあるかないのかなと。」
「ちょうど意見を言える大学生ぐらいが外に行ってる状況ですもんね。その力を結集できる何かを。大学生集まれるな感じの。」
「成人式の時とかに何かを言う会みたいなの。久しぶりに戻ってきてどうだーとか。そういう場ね。」

「来年の成人式のときに企画できないですかね。」
「外部からきたものなんですけど、たぶん戻ってこられる方は元々の富良野の良さを知っていて、次またかえるってときにそれ以上の楽しみがないとかこれないっていう。でもそれまでに出て行く際に何で出て行くかっていうところが課題で、ただこの町が面白くないとか純粋にビカビカしたところにいきたいとかあるんじゃないかと思うんですけど、その課題ですよ。例えばインターネットが充実しなかったら今の時代戻るときにはそれがなかったら戻れないとか、戻ることに対しての新しいことじゃなくてそれ以前の課題みたいなのがあるんじゃないかなと思う。イオンができたからって戻ってくる理由にはならないだろうし、でも昔よりインターネット実は充実してるんだよって言ったら、『あ、昔は気にしなかったけど今は絶対いるから戻れるね』とか。そういう丸バツみみたいなものもいるのかなーと。そういう意味でも大学生のヒヤリングの時に、ディスカッションできればいいですけど、純粋にデータだけほしいですよ。アンケートでも。」
「アンケートよりも喋っててっていう方が本当はいいですよ。本音を聞きたいっていうのが。」
「あんまりないですよ、地元の出でいった大学生にアンケートをとるっていうの。堅苦しいのではなくて面白みのあるアンケートにして自由に。」
「面白いかもしれないですね。」
「使う／使わない別にしてデータとしてあれば。」

3.富良野のユニークポイントってなに？

「今まであるものを何かを加えながら続けていくっていうのが大事で、ずっとあるものを残す考えも大事だけど、チェンジしながら続けて行くのも大事だよ。その中でへそ祭りのお話があったりとか、新しくできた演劇工房を何かもっと大きくできるような何かないかなって。まだまだ魅力が散在してるけど、あとはどう繋げていくかっていうのが大丈夫だよ。」
「実際に働いている外国人さんで働きながら勉強して、逆に戻ってから 仕事したいって人も増えてきてる。学校との交流」「東川にありますけどあそこの学校はどちらかというと上流階級。」

テーマ:『人口減少でも豊かな富良野の未来のために必要なこと』を考える

チーム:第2回ワークショップ チームB



「生産者がやりやすい、過ごしやすい環境作り。もちろん高齢者の方も過ごしやすい環境作りも大事だけど、これからの担う若者たちが過ごせる環境」

「定年後の働き先。介護。定年してからもまだまだ働けるし、でも定年してからの働き先がない。でも今どこも人手不足なのに働きたくても働ける場所がない。」

「高齢者がトップにたつんじやなくて若い人が若いやり方で逆に勉強していく方向でやっていったら昔のやり方ではなくて今のやり方で上手くやっていけるのではないかと。」

「犯罪。観光の街の中で外人さんも多いのにそこまでない。来る人たちが富良野にお邪魔している、みたいな感じで街としてはいいのかなと。」

「自然を生かした、もう少しちっちゃいコミュニティはあってもいいのかな」

「後継者が外に出て行く。入りやすさを作る。」

「地元にお金がまわらないとなりたないの、都会にないものを大切に。地元いたら当たり前で、でも外から来ると新鮮。それを上手く表現していくことができれば」

「犯罪が少ないというのは人のつながり。」

「富良野に昔キャバレーがあって、それを嫌と思うのかいいと思うのか。距離の近さを嫌がるのか、人のつながりという温度差、距離感なのか。そういった部分が難しい」

「人口減少。一度ふらのを出て戻ってきた時どう感じたか」

「戻ってきたきっかけは、地元って落ち着くな。新しいことが始まるからそれに挑戦してみようということだった」

「挑戦するっていう気持ちの中で富良野が盛り上がってほしい、もっとみんな戻ってきてほしいっていうのがあって、何年か住んでみて足りないものが見えてきて、札幌は札幌でいいところはあって、富良野は富良野でいいところがある。それはいいことだけど、お母さんとか働きたくても子供を預ける場所がなかったり、今はどこもそうだけどそこを整えていったりもうちょっと市の方でやっていただけたらいいなど」

「帰ってきやすい環境。子供を育てやすい。」

「農家=大変。そうではなく、楽しいとか魅了を教育していく。」

「農家とかもSNSを使って宣伝したりしている。でも光がまだきてないとかでSNSを使うこともできない、Wi-Fi環境もないからやっぱり都会に行く。そういった環境整備も必要。」

今の若者にとってネットは命」

「田舎は速度制限がかかる。SNSをつねに触ってる。元々都会に住んでたらそれがネック。」

でも移住者はそれをもとめてない。自然とか」

「都会から戻ってくる人と移住者の価値観は違う。でも最低限はほしい」

「移住してくる人がネット環境があると思って来たのにならなくてという意見をもらう。ネット環境はあって当たり前と思われる」

「富良野から出ないでこのまま富良野で就職したい。なので最低限のネット環境必要」

「犯罪が少ないは移住の理由にはならない。富良野は大きな犯罪はない。田舎だから小さい犯罪でもすごく大事

になる。なんかしちゃうとすぐ広まる。その距離感がいいのか悪いのか。不快感がどこからなのか。」

「教育って最終的に大事。自然を生かしたり、自分が小さい時は演劇のコミュニケーションだったり文化だったり学んだ。外から見た富良野の良さで教育に結びつくものってどうなんだろう？」

「文化とか自然もそうだけど、富良野の自然塾とかあるし、どちらかというと修学旅行生とか会社の研修なんかに使われている。これから新しく作るのは難しいから今あるのものの中からの連携だとか演劇とか、富良野高校も全国大会に行きましたよね。演劇工場のバックアップ。演劇の専門学校まで難しいかもだけど塾だったり。今あるものより充実させていけると」

「ある意味で、昔は農作物を作るは当たり前。それに加えて演劇とかコミュニケーションとか色々増えてきている。そういった部分で環境が整っててそれもまた当たり前になってるのかもしれないし、そういった部分も富良野としては発信できるものだったりするのかな。」

修学旅行生も農作業体験でコミュニケーションをとったり、スキーをやったり。」

「修学旅行生をターゲットにしてるのはもったいない。収益源ではもったいない。地元の高校生、中学生とかが交流したり参加したりできたらいいよね。」

「自然塾は小学校のとき一回だけは行ってくらい」

「演劇は今すごい評価されてる。町のイメージはつけやすい。そういったことから全国から学びに来る機会だし、そこは良さなのかな」

「今は時間かけて根付いてきているのかもしれない。昔は違った」

「子育てと教育」

「富良野は自然は豊かでも子供らの遊ぶところが少ない。アンバランスな意見」

「昔の人は遊び場は自然だった。自然塾の中に自然の保育所とかあったらおもしろい」

「出合さんの文化交流もはかって地元の人たちと外国の方との交流。農家に働きに行ったり、そういった人たちも気軽に通えるように、それで富良野を好きになってくれたらいい」

「将来どうしたら帰ってきたいか。当事者に聞く。大学生とか成人式とかみんなが集まった時に聞いてみる」

「1番盛り上がったのがこういった形で集まって話をしたりするのを常にやらないといけないのではと。いつもだったら同じメンバーで集まったりするから、そうじゃなくてこういった形で色々な人の意見を出し合って実際に行動に移せる人。話し合うのが1番大きな話題になっている」

「人口減少で出てきたキーワードはつながり。人とのつながりが大事。つながるために個人として、生きがいがあって、核となるものはその中で人とつながっていく。具体的な問題が介護人材が不足している。不足してるから人をなんとかしようじゃなくて、元気な高齢者を使って介護人材が不要な状況を作るのも大事ではないかなと。そういう高齢者が生きがいをもって生きていく。そういった形も理想だよ」

「テレビで野球選手が地元の良さはどこですか？に対して人の良さ、結局は人なのかな。」

物じゃない。こういう人を育てるのも教育」

「自然学校があってもいい。富良野は心を癒されるっていうふうにしたらいいのかな」

「富良野スタイル教育プラン」

提案動画データ

A チームの提案動画

『富良野グローバルシアターフェスティバル』

提案動画はこちらからご確認くださいませ >>



B チームの提案動画

『ふらのドリームパーク』世界一だべさ

提案動画はこちらからご確認くださいませ >>



C チームの提案動画

『SPW～サステナブルピースワークショップ』

提案動画はこちらからご確認くださいませ >>



D チームの提案動画

『人を大事にする・人を育てるまちづくり』

提案動画はこちらからご確認くださいませ >>



E チームの提案動画

『富良野スタイル教育プログラム』&『ミライへの光』

提案動画はこちらからご確認くださいませ >>



性別	年代	住まい	出身	居住期間	1) 印象に残っていること	2) これからの富良野に大切なこと	3) 自由記述	
1	女性	10代	市街地 東	道外	5-9年	これからつながるような取り組みを増やしていく。思っている以上に課題が多い。	中学生など富良野についてちゃんと考え、意見をを出していく。今ある富良野をもっとよりよくしていく。富良野にしかできないような取り組みを増やしていく	
2	男性	10代	市街地 西	道外	10-19年	大人の意見を聞く貴重な機会となりました。考えていたよりも中高生の心配をしている大人がいて、嬉しいと思いました。	子供への「より良い環境」の提供。IoT、AIを利用した勉強アプリ。新たな視点による観光、何かのインオプテアとしてのノウハウ。	新たな仕事をできる場に、今生まれる人の価値は既存の場には敵かない。では、「ノウハウは継げないマシ」の考えも養われる！？
3	女性	10代		道内		自分では全く気づけていないようなことに大人の方々の意見を聞いていくことができた。	市民の方やいろんな人が集える場所をつくること	
4	女性	10代	市街地 東	道内	10-19年	富良野には良いところがたくさんあるということを改めて思った。他の年代の方々の富良野について思っていることを聞くことができて、とても良い機会だったし面白かった。	市民会員で富良野について考えていくこと。よりよい富良野にしていく。	ご自分の件について実行してほしいです。
5	女性	10代	市街地 東	富良野出身	10-19年	富良野には、良いところがたくさんある。海副がすごい！と改めて感じることでできてよかった。	富良野の特徴を活かしたものを増やす	富良野でのイベントやコンサートを増やしてほしい
6	男性	10代	布部・五区	富良野出身	10-19年	富良野について考えていることをたくさん聞けておもしろかったです。	若い人が出ていきたくないためにも、なにか遊ぶ場所が必要だと思います。	
7	女性	10代	山部	富良野出身	10-19年	富良野に住んでいる人同士、こんな話っていることが同じなんだと話していて、世代も違っても、初対面でも楽しい機会でした。特にエレベーターを付けてほしい、はたしかにはと思います。	観光客どううまく付き合っていくこと。お店をつぶさないようにしていくこと。	
8	男性	10代	船泊・大沼・扇山	富良野出身	10-19年	10、20年後の自分や周りの人を想像する	他の学校や地域との交流や、周りの人たちとの関わり合い	
9	女性	10代	市街地 東	富良野出身	10-19年	自分と同じ意見を持っている人がいたので、なんとなく安心できました。	周りの地域の良いところを取り入れ、どの世代も住みやすいような街づくりをする。	
10	女性	10代	市街地 東	富良野出身	10-19年	富良野をより良くするためにみんな熱心に考えていて意見を聞いたりするのが楽しかった	「今」をより良くするのはもちろん、「未来」のことも含めて、これからはどうしていくのか、考えることが必要だと思った	
11	女性	10代	山部	富良野出身	10-19年	年代によって思っていることや考えていることは違っていて、たくさん意見と交流することができて、勉強になりました。	人口減少について、どう対応していくのか大切だと思います。	
12	男性	20代	市街地 東	道内	5年未満	いろいろな意見を聞くことができてよかったです。視野が広がった。	二一と二一六がワッチャすること。例えば企業側と働く人。	

13	男性	20代	市街地 西	道内	5年未満	20、30年後の生涯年齢人口の少なさ。人口一人当たりの観光入込客数6位。	外国人観光客への対応。通学に伴う市外流出の阻止、またリターン促進。	
14	男性	20代	市街地 西	道内	5年未満 (①→⑤のテーマ)	テーマが異なっているも、求めていること、必要だと思っていることは同じようなことを思っている(①→⑤のテーマ)	・外国人人材の活用、交流→相互理解の場 ・若者男女が交合うことのできるマシ（交流の場など） ・みんなが今後の富良野の何ができるかを考える意識付け	
15	男性	20代	山部	富良野出身	20年以上	いろいろな方が富良野に対して思っていることがあるのだと知ることができたこと。意見交流を楽しむことができた。	医療機関の充実・常駐医師の増加。	今日、他の班で出た意見も聞きたい！
16	女性	20代	北の峰・御料	富良野出身	10-19年	ここでの話し合いやアイデアが、市にはどう響くのか気になる。このような機会をつくっていただき、ありがとうございます！	・生産者の通じやすいマシ！ ・特から少し抜ける（おふるけ、面白いことをし、みんなが楽しみなから富良野市の活性を考える）	
17	女性	20代	市街地 東	富良野出身	20年以上	みなさん富良野が好きでこうなっていてほしい！！という想いが強いと感じた。今まではそういうような場は無いので、とても良い体験ができた。	市民（子供から若年寄りまで）の目線に立つこと	
18	男性	20代	山部	富良野出身	20年以上	意外と多くの方が富良野のこれらについて考えようとしていることに正直驚いた。皆さん、参加の意欲があって来られているのだから、3時間以上であっても良かったのではと思う。	行政、市民が一体となって、何が必要か、どうすれば不安のないか、市民は若者や地域のある方以外にも中学生とかがいても面白いと思う。	多くの方と意見交流ができて、たくさん刺激を受けました。また機会があれば参加したいです。
19	女性	30代	市街地 西	道外	5年未満	今自みたいいなさ、これからはあったらと思います。	自然を大切にすることです。	地元の人も、移住の人も、海外の観光客もみんな、仲良くできる街を作りたいと思います
20	男性	30代	市街地 西	道外	5年未満	こういったイベントに多くの方が参加していることにかしぼり驚きました。	人口減を受け入れてから話をする、行動する	
21	男性	30代	市街地 西	道外	5年未満	富良野に住み始めて日が浅いですが、これほど人が富良野の未来について意見交換している様子を初めて、富良野の未来は明るいと感じました。	人口減による施設の数や仕事の数の上下（イメージ）が不安なのだと思う。市民、市役所の人、外面の人のコミュニケーションの場がもっと必要を感じた。	
22	男性	30代	布部・五区	道外	10-19年	いろいろな業種、世代の人と話ができて良かった	農業と観光、後継者を増やす。富良野の良さを全国にアピール	20、30年後の明るい未来を創造していきたい
23	男性	30代	船部	道内	5-9年	様々な年代の様々な地域、業種の方々とざっくばらんに話ができて楽しかった。	現状をしっかりと把握して、農業のことを明るく真剣に考え、実行できる環境、サポートの事を市民を行政でつづけていくこと	
24	男性	30代	市街地 東	道内	5-9年	たくさんの方の皆の話や考えを聞けて、大変貴重な経験ができました。	富良野には富良野の良さがあるから、都会のエネや他地域のエネではなく、市民とその地域所や観光協会と協働していく。	

性別	年代	住まい	出身	居住期間	1) 印象に残っていること	2) これからの富良野に大切なこと	3) 自由回答
25	男性 30代		道内		ホストイトを集約して意見を見える化 える化	住民さんがくるまちづくり。意見の取り方の多様化	楽しく参加できて面白かった。
26	男性 30代	市街地 東	道内	10-19年	何か楽しい時間でした	こういう「話し合う場」が大切と感じました。	
27	男性 30代	市街地 西	道内	5-9年	富良野に対する「悪い」は共通するものが多いと感じた	田舎くささ	広く話せる場があること、これからはお願いしま
28	女性 30代	山部	富良野出身	20年以上	富良野についてここまで考えることってあまりなかったけど、みんなでどういった形で楽しくてきたのがすごく良かった。	観光も大事だけど、今いる人たちの幸せとは何か、もっと大切にしていきたい。	本郷の里をもっと利用してほしい。利用しやすくなるには。
29	男性 30代	市街地 西	富良野出身	20年以上	みんなそれぞれ考えや思いがある。とてまずばらしい交流の場だと思います。	人と人との繋がり。	住んでいる人がまずは、この町にいて良かったと思えるようになればいいと思います。
30	男性 30代	市街地 西	富良野出身	20年以上	いろいろな視点があって面白かった。	・世界を視野に「抜きこむ」こと、何かが世界一・共生すること	
31	男性 30代	市街地 東	富良野出身	20年以上	「焦点」を当てないと思えない事案があること、まちづくりは市民が自主的に、意識しました。	市民同士の協力、共創	
32	女性 30代		富良野出身	5年未満	参加者が思いのほか多かったことが印象に残りました。まだまだ富良野は女々と少し安心しつつ、でもひとりひとりが動いていかないと...という類whileなどと思いましたが...	一人一人が自分ごととして捉え、動く。動ける人は周りを巻き込み、輪を大きくしていく。「あれ？何か楽しそう！」と注目を集めて、さらに人を呼ぶがポイント。	高齢者と子供をつなぐ場がキーポイントかな？と思えました。
33	男性 30代	山部	富良野出身	20年以上	富良野は良いところだと思う	大学がないからあればいいと思う。	
34	女性 30代	峰・柳 料	富良野出身	20年以上	富良野には考えるべきテーマがたてとある。広い土地があるのに、(施設等も)活用しきれていない。夜もどくの国から来てた部分があるのて、それをどうしたらいいか...	観光の町になっているが、住んでいる自分たちが暮らしているきやうい富良野の住を考えていくべき	今日まわりに住んだことを伝えたい、最後、番号ごとに分かっていたが、もつてでに話したかった(行政、仕事、暮らし、子育てなど)
35	男性 30代	島沼・大沼・眉山	富良野出身	20年以上	本場に様々な方がいました	一人一人が主体に、希望を持ち、人生を築きめる街へ。	みなさん、良いアイデアや発想、課題解決の考えなどありましたが、それを活かす場がない、作る必要がある。
36	男性 30代	市街地 西	富良野出身	20年以上	・説明がとてわかりやすく良かった。 ・他の参加者の方も前向きで良かった。一方、もっとはしげても良かった。	・市民の行動力、前進したい気持ち ・何がダメなのかではなく特徴として考え、いいことを伸ばす。	もっと長く使っても良かったです。逆に言うとな、それだけ楽しく、良いMSでした。

37	男性 30代	市街地 東	富良野出身	10-19年	新しい発見や意識できるワークショップだった。	富良野市民の当事者意識	皆さん熱く、しっかりとした考えがあり、とても楽しかった。意見を言い合い、否定しない環境が新鮮でおもしろかった。
38	男性 30代	市街地 東	富良野出身	20年以上	時間が短かったです。ちよと詰らみすぎてしまったのでは、ワークショップは体験球んで、もう30分くらいやったらいいか...	・市民のデザイン共有（これほできるだけ多くの市民で、一部意識の高い人だけでなく） ・目標に対する責任感・達成意識を持って具体的に取り組むこと	どちらかというこの手のワークショップは理解寄りになる印象でしたが、必ずしもそれとなく良かったです。総合計画も50sが大事だと思えます。一体となって、具体的目標にしっかりと取り組むことが大切だと思っています。
39	男性 30代	市街地 西	富良野出身	20年以上	一人一人が今後のふらについて考える機会があった良かった。ワークショップ型はいろいろな年齢層が参加しやすい。	人と人が繋がり、何をしていくかを具体化していくこと	いろいろな意見が聞けて楽しかった。
40	男性 40代	別ノ・八幡丘・富丘	道外	10-19年	他の方の意見や考えが聞けて良かった	「環境」これからは環境に目を向けていない地域(地方)はおいでいゆれる	観光(体験) 農園をもっと充実させたい。
41	女性 40代	東山・西達希	道外	5年未満	いろんな意見が出て、目にカロロなアイデアもあり、とても貴重な時間に参加できてよかったです。次回も参加したい。	市民の声を聞いてほしい	今日の情報を公開してほしい
42	男性 40代	島沼・大沼・眉山	道外	10-19年	途中で退席となってしまい残念。興味が出てきたので最後まで参加したかったです。	子育てを支援する制度を幅広くしてほしい。	観光客が多く来られているのに、受け入れ態勢が不十分。もっとユーザービズは可能と思えます。
43	女性 40代	島沼・大沼・眉山	道外	10-19年	中学生の子たちが参加してくれたことに大きな意味があったと思います	富良野がブランド戦略を持って、将来設計をしていくことがとても重要な点だと思います。	20年後に5-60歳が40%減かするとうことを視野に入れて、将来設計してもらいたいです！！
44	男性 40代		道外		富良野市民のフアラの強さを感じました。	まだまだ活かしきれていないモノ、環境、ヒト(趣味)をうまく活かすしくみ、きっかけづくり	このようなワークショップを開催していただきありがとうございます。
45	女性 40代	市街地 東	道外	10-19年	話したことがない方と話せて楽しかった。こういう場があらゆる場面であったら良い。	子育て、教育に軸を持った大人が真剣に取り組むこと。何か大切で、何を残すのかな「覚えていゆない(もの)」ことを考えること	ワークショップ形式の話し合いが特徴であると感じました。
46	男性 40代	市街地 西	道外	5年未満	いろいろな立場の方との交流が構築になりました	観光客でもない、生まれつきの富良野市民の保守性でもない、あるべき、ありたい富良野の姿をえがいて実行できる雰囲気、人、場所のつながり	
47	男性 40代	北の峰・柳 料	道外	20年以上	・行政への不満が大きい ・わかりやすいビジョンが必要	・ビジョン ・20年後の未来予想図、具体的な絵	
48	男性 40代	市街地 東	道内	20年以上	多くの方が参加していて、様々な視点から意見が聞けて面白かった。	教育、子供たちが富良野で住みたい(住み続けられ)ことを増やしていきたい。	

性別	年代	住まい	出身	居住期間	1) 印象に残っていること	2) これからの富良野に大切なこと	3) 自由記載
48	男性	40代 市街地 東	道内	20年以上	多くの方が参加していて、様々な視点から意見が聞けて面白かった。	教育、子供たちが富良野で住みたい(住み続けられる)と思える環境づくり。	子供たちが、本物、スゴイもの、ことを体験できることを増やしていきたい。
49	男性	40代 市街地 東	道内	5-9年	富良野を考えている人が多岐にわたっており、出たアツキアツキが形になるといい。	勇氣！要えるには思い切りよき(犠牲?)も。	富良野がすごい気(住んでいる人が元気)であってほしい。自らのやれることやっていきたい。
50	女性	40代 市街地 東	道内	5-9年	いろいろな人の意見を聞いて、富良野にはまだまだ難かやでできることがたくさんある！！と思えました。	地元の人だと気づかないことがたくさんあると思える。富良野から来た人の意見、とても参考になると思うので、そういった人を求めてこれから考えたいです。	高校に支援学級をつくらせてほしいです！！地元の学校で地元で就職を！
51	男性	40代 市街地 西	道内	20年以上	若い人が多く、続けてほしいです。	一人一人が出番のある街に。	このような機会を多くほしいです。
52	女性	40代 市街地 東	道内	10-19年	自分の住んでいるアツキのこと、生活のことを多世代の方と話げてよかったです。特に高校生など学生の声が増えたことが印象的でした。	関係人口を増やすこと、多文化共生、子育て支援、人にやさしい街づくり、大胆な発想、世帯に負けない魅力ある富良野。	地産地消をもっと増やしてほしい
53	女性	40代 市街地 東	道内	5-9年	いろいろな年代、出身地の人が集まっていて、富良野を良くしようという想いが伝わった。	住んでいる人が安心して暮らせるまちづくり	
54	男性	40代 市街地 西	富良野出身	20年以上	こんなに多数の参加者が出席していて、今後の富良野を考えているのだと嬉しく思いました。これからの富良野が楽しみです。いろいろな意見が出たことはとても嬉しい。	農業と自然、そして何よりも人のつながりを大切に、まちづくりをすることが大切。	
55	男性	40代 市街地 東	富良野出身	20年以上	おもしろい意見、考え方が多かった。	一人一つの幸せの思いやり。	図書館×遊戯機もおもしろいかも
56	男性	40代 市街地 西	富良野出身	20年以上	年齢の若い方から高い方まで、これだけ多くが参加できてきたことは素晴らしいことだと思います。	特色をもつこと	未来を語って、現実に近づけることが出来る集団(いつもなかなかやっていない感じの)があったら良いなど。
57	男性	40代 市街地 西	富良野出身	20年以上	すごい人材がいっぱいいるなど。	つながり	
58	女性	40代 市街地 東	富良野出身	20年以上	色々な年代で聞いていることなど多様で、この先が楽しみです。	誰でも気軽に意見し合える関係を大人がつくり、子供に安心して夢を歩ける	3時間ほど長いなど思っていましたが大、あつという間に通ぎ、とっても楽しいひとときでした。
59	女性	50代 山部	道外	20年以上	色々な方の意見や話を聞けてよかった。一回で終わらずに次に繋いでほしい。	富良野らしさ！富良野にしかないものを発見、発掘。	
60	女性	50代 市街地 西	道外	20年以上	たくさんの方が現状や未来のことについて考えていて、スゴイと思ったし、数値化、視覚化する化はあつたこと。	自分のまわりの人に伝えること、自分から考案すること	
61	男性	50代 市街地 西	道内	5年未満	このような場を何度も何度も繰り返すことが大切	自然	
62	男性	50代 市街地 東	道内	5年未満	年の思えばいい言葉、アツキの生もアツキに意識をもった人たちの話を聞いても良い機会でした。どんなアツキの思いだと思います。	アツキの自然の恵みか、人と人とのつながり、あつたアツキのアツキをつくる、アツキアツキをアツキアツキしたい。	富良野におかまねるアツキアツキ(人、物、モノ)をつくる、発案を用いて、アツキアツキをアツキアツキでアツキを表現する
63	男性	50代 市街地 東	富良野出身	20年以上	野球の地味アツキについて、応援していきたい。	日本や世界にとっての富良野の価値を考案、そこを誇りにしていけるように、(気候、少ない気象など)	
64	男性	50代 市街地 東	富良野出身	20年以上	市民の様々な「思い」や求めている事の内訳はすこぶ共通しているのに、どうして行政に聞かないのかアツキが不思議だと思えました。行政がもっとかまわりたいです！！	聞かれた人物、社会、課題を生かした事かにかまわらなくてもいいアツキを自然にアツキにしたい。	
65	男性	50代 市街地 西	富良野出身	20年以上	二主人外国人の、方、聞いたらとあるらしい	学校、外国人や日本人どちらからでも、両方でも。	若い人が多くて聞いた、年齢が高い方々の意見も聞かすのがいいかも。
66	男性	50代 市街地 東	富良野出身	20年以上	富良野市の将来について	仕事の充実、イベントの充実、病院の充実	
67	男性	50代 市街地 北の 東、柳 林	富良野出身	20年以上	アツキ、会話のように、このような場を続けること。	経済の発展(お金の循環)、観光をどう上げるか、外資を農業、観光で採る、街にまわす意識。	新しく作るのではなく、あるモノ、コトにアツキを当ててみる。
68	女性	60代 山部	道外		話し合うことはとても大切だと思います。距離で遠くならず、行政にまかせるような道程があればと思います。	自然のすばらしさを共通知念に、楽しく働ける環境をつくる。安心住宅、アツキアツキアツキへの補助	
69	男性	60代 市街地 北の 東、柳 林	道内	20年以上	いろいろな意見を聞くことができてよかった。	今日のように、市民がもっと意識をもって考える。	
70	男性	60代 市街地 北の 東、柳 林、岡山	富良野出身	20年以上	大賛成！計画を定めておられ、わかりやすかった	環境、施設、自然の整備が必要と思われた	
71	女性	60代 市街地 西	富良野出身	20年以上	新鮮でした。これからも続け、いつかは結果として出せたらよいと思います。	健康で明るいまちづくり、またまた富良野に住みたいと思われようなら未来あるまちづくり	
72	女性	60代 山部	富良野出身	20年以上	自分を感じていなかった富良野らしさ、自然を知ることができた	自然と住人たちの心を大切に守っていくことが大切	行政が市民を担えるのは良くないことだと思います。新市庁舎、再考をお願いします。
73	男性	70代 山部	道外	5-9年	アツキアツキのアツキの方法は役に立ちます。ただし時間がかかりすぎて意見交換が不十分。	市民が自分の問題として、これからの富良野に特に大切なことを意識し、議論すること	今まで平和に過ごしてきた富良野が壊れる過激な環境に変化していくのは残念。
74	男性	70代 市街地 東	富良野出身	20年以上	とても素晴らしい。いろいろな発想が聞けて参考になった	成長する住民自身が政策を実行してほしい。(人)を大切に。	街(街)をつくらせていくためのアツキアツキ、アツキアツキ等々あります。

参加者インタビュー動画

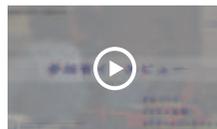
ワークショップ&セミナー終了後の参加者インタビュー



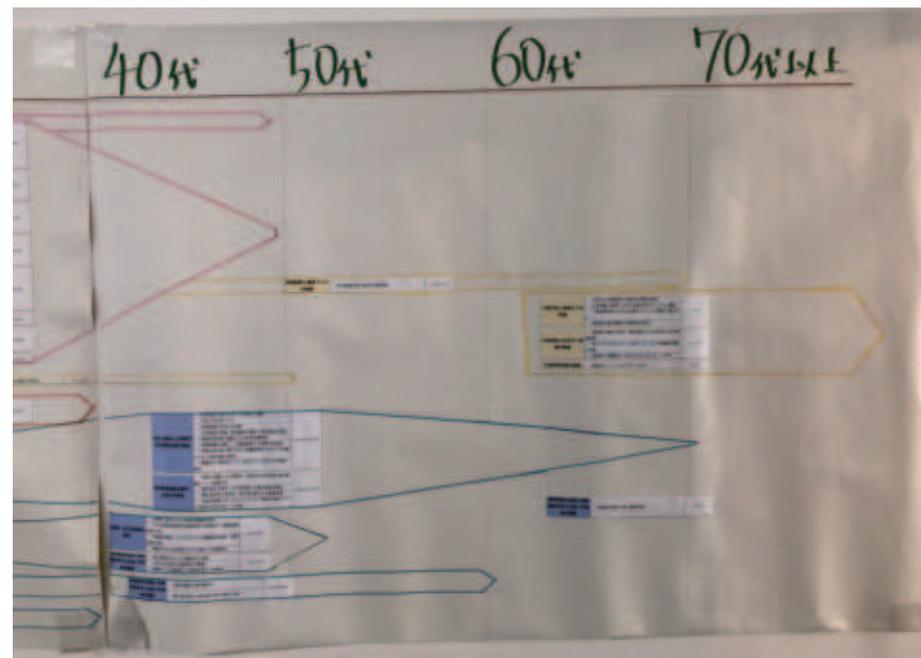
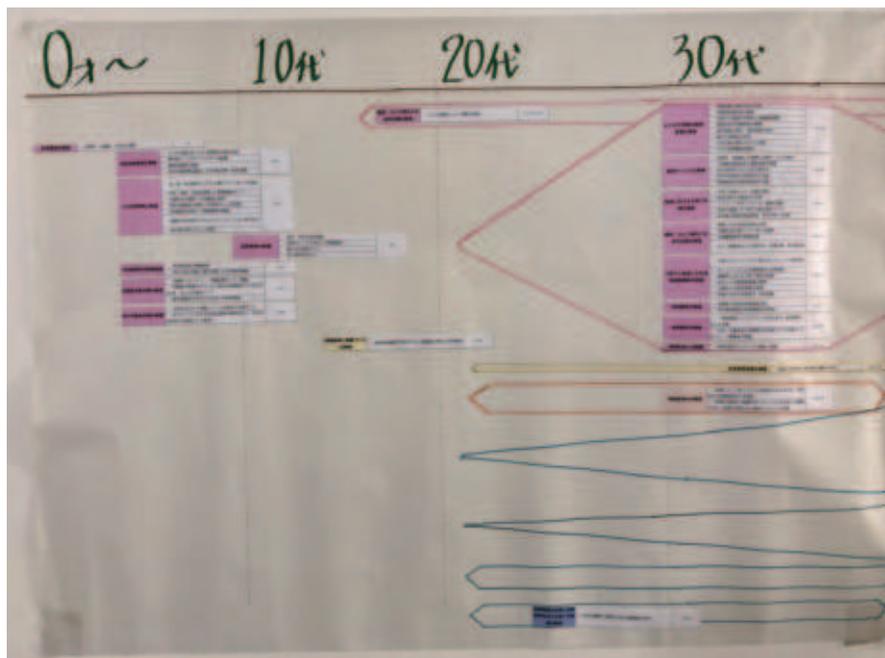
参加者インタビュー動画

参加者5名のインタビュー

インタビューはこちらからご確認ください >>



▼第2回ワークショップで参考にした現行施策の対象ライフステージ別一覧



第1回ワークショップ動画

開催：2019年10月20日(日)
当日の様子はこちらからご確認ください >>



第2回ワークショップ動画

開催：2019年12月7日(土)
当日の様子はこちらからご確認ください >>



参加者インタビュー動画

参加者5名のインタビュー
インタビューはこちらからご確認ください >>



▼第1回ワークショップの様子



▼第2回ワークショップの様子

